JAPAN GAMES

昭和100年

2026 AOMORI

青の煌(きら)めきあおもり国スポ



公式マスコット
「アップリート君」

第80回国民スポーツ大会

テニス競技会

会　期　10.11㊐ - 14㊌

会　場　新青森県総合運動公園テニスコート

主　催　公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・青森県・公益財団法人日本テニス協会・青森市

第80回国民スポーツ大会

The 80th JAPAN GAMES

国民スポーツ大会（国スポ）は、都道府県対抗で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。本県での開催は、前回のあすなろ国体(※)以来49年ぶりであり、前回同様、冬季大会と本大会を同一県で開催する「完全国スポ」です。

※2024年から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わりました。

あすなろ国体とは？

昭和52年、青森県で国体史上初となる完全国体（冬・夏・秋と3季にわたり行われる大会を同一県で実施した国体）として、第32回国民体育大会（あすなろ国体）が県内各地で華々しく開催され、本県は天皇杯を獲得しました。



■ 大会愛称

青の煌めきあおもり国スポ

青い空、青い海や湖、青い山並みなど美しく豊かな自然に恵まれた青森県で、あおもり国スポに参加する全ての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。

■ スローガン

翔けろ未来へ縄文の風に乗って

縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

■ イメージソング「翔けろ未来へ」



作詞：井元 仁江
作曲：T.Mikami
編曲：多田 慎也、島田 尚
歌唱：りんご娘
（ピンクレディ、スターキングデリシャス、はつ恋ぐりん、金星）

■ ダンス「青の煌めきダンス」



イメージソング「翔けろ未来へ」にあわせ、振付けに青森県を表現するポーズやねぶたの跳人の動き、手話による表現などを盛り込んだ、青森らしいユニバーサルデザインダンスです。

■ 公式マスコット



「アップリート君」

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現しています。

LINEスタンプも販売！

最新情報は公式アプリ・HP・SNSで！

公式アプリ

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

あおもり国スポ　検索

今すぐ無料ダウンロード！

公式HP　X　Instagram　YouTube

目 次

あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会　会長　遠藤　利明 …… 4

文部科学大臣　松本　洋平 …… 5

公益財団法人日本テニス協会　会長　深澤　祐二 …… 6

歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会　会長　青森県知事　宮下　宗一郎 …… 7

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会　会長　青森市長　西　秀記 …… 8

青森県テニス協会　会長　津島　淳 …… 9

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規定 …… 10

国民スポーツ大会大会会長トロフィー授与規定 …… 11

大会役員 …… 12

競技会役員 …… 16

国内大会委員会　国民スポーツ大会専門部・トーナメント運営委員会 …… 18

競技役員 …… 19

競技補助員・競技会係員・競技会補助員 …… 21

総則 …… 22

実施要項 …… 41

競技会日程 …… 46

競技組合せ表 …… 48

表彰式次第 …… 52

テニス競技の見方 …… 53

参加監督・選手一覧 …… 56

都道府県別参加人員表 …… 59

競技会場図 …… 61

競技会場案内図 …… 62

関係機関連絡先一覧 …… 63

記録速報サイト …… 72



あ い さ つ

公益財団法人日本スポーツ協会
会 長　遠 藤 利 明

はじめに、本年７月 28 日に発生した令和８年熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、同地震及び昨年 12 月 8 日に発生した青森県東方沖地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈りいたします。

第 80 回国民スポーツ大会は、本年１月から２月に行われた冬季大会と併せ、「完全国スポ」として開催いたします。

第 71 回岩手大会以来、10 年ぶりとなる「完全国スポ」を締めくくる本大会が、縄文の時代から育まれてきた歴史と文化を有し、豊かな風土に恵まれた本州最北の地、ここ青森県において開催されますことは、誠に意義深いことであります。

本年は、第25回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）、サッカーFIFA ワールドカップ 2026、第20回アジア競技大会（愛知・名古屋）などの大規模な国際総合競技大会が開催され、多くのアスリートの目覚ましい活躍が、私たちに大きな勇気を届けています。

本大会が「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」というスローガンの通り、出場するアスリートの皆様にとって、世界へ羽ばたく契機となることを切に願っています。

さて、日本スポーツ協会では、「有識者会議」からの提言に基づき、令和７年７月、改革を具体的に進める組織として、「国スポ改革タスクフォース」を設置しました。

今後、現状と課題を分析し、国民スポーツ大会が競技性・祝祭性・社会性・文化性を掛け合わせた、「トップアスリートと地域スポーツの好循環　～人と地域の未来を創る～」という理念を具現化できる大会となるよう、検討を進めているところです。

結びに、地震からの復旧に取り組みながら、本大会の開催にあたり諸準備にご尽力いただきました 青森県をはじめ、関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あ い さ つ

文部科学大臣
松本　洋平

はじめに、令和８年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

文部科学省としては、被災された熊本県をはじめとする自治体への支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ青森県において昭和１００年記念 第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

青森県は、世界自然遺産の「白神山地」、四季折々の表情を見せる「八甲田山」や「岩木山」など豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」や重要無形民俗文化財である「青森のねぶた」など、自然と文化が息づく県です。

昭和５２年のあすなろ国体以来４９年ぶりの青森県での開催となり、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

本大会は、史上初となる総合開会式・閉会式の屋内開催に加え、大会公式アプリによる競技情報や結果速報の提供、デジタルチケットの活用などデジタル技術の活用により、選手と観客双方に配慮した大会運営となっています。「青の煌めきあおもり国スポ」が、国民に夢と感動を与え、青森県の魅力発信と活性化につながる大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や青森県民の皆さんとの交流を通じて、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、東京２０２５世界陸上競技選手権大会、第２５回夏季デフリンピック競技大会東京２０２５、ミラノ・コルティナ２０２６冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は、愛知・名古屋において、第２０回アジア競技大会、第５回アジアパラ競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「青の煌めきあおもり国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元青森県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

（令和８年７月３１日現在）



あ い さ つ

公益財団法人日本スポーツ協会
会 長　深 澤 祐 二

青の煌めきあおもり国スポ「第 80 回国民スポーツ大会　テニス競技会」が、青森市新青森県総合運動公園テニスコートにおいて盛大に開催されますことに、心よりお祝いを申し上げます。また都道府県、ブロック大会を勝ち上がって、本大会に出場を果たされた選手、監督、コーチほか関係者の皆さま、その皆さまたちを応援し、支えてこられた皆さまにも、あらためてお祝いを申し上げます。

本大会のスローガンは「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」であり、縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いが込められていると伺っております。

私たち日本テニス協会も、テニスを通じて、人と人、国と国とをつなぎ、その素晴らしさを伝え、すべての人が健やかで幸福な人生を享受できるような、多様性と調和のある社会の実現に貢献するとともに、その活動を通じて日本を、地方を元気にしていきたいと思っています。

ぜひ選手の皆さまには、都道府県代表チームのメンバーとして、天皇杯と皇后杯を目指し、日ごろの練習の成果を存分に発揮していただくとともに、関係者の皆さまにも、この大会で得られた感動を多くの皆さまに向けて発信していただき、未来につなげていけるような活動をお願いできればと思っています。

最後になりましたが、本大会の開催と運営に多大なるご尽力を頂きました、青森県、青森市、青森県テニス協会をはじめとする関係者の皆さまに厚く御礼を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



歓迎のことば

青森県知事　宮下宗一郎（みやしたそういちろう）

はじめに、令和8年熊本地震によってお亡くなりになられた方々に、深く追悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

昭和100年記念青の煌（きら）めきあおもり国スポ「第80回国民スポーツ大会」が昭和元年（1926年）から起算して満100年の節目となる年に、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、青森県において開催されますことをお喜び申し上げます。そして、全国各地からお越しくださいました選手及び関係者の皆様を、県民を代表して心から歓迎いたします。

「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」は、史上初の完全国体である「あすなろ国体」以来49年ぶりとなる青森県での開催であり、国民体育大会から国民スポーツ大会に大会名称が変更されてから、初の“完全国スポ”となります。

「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、美しく豊かな自然の恵みを受けながら、一万年以上にわたり縄文文化が営まれていたこの青森の地で生まれる新たな歴史と感動、そしてこれを希望ある未来へつなげていきます。

“スポーツで青森県が一つ”に、“私たち県民の心がスポーツで一つ”になる、「青森新時代」の大会を目指し、県民総参加で青森県を青の煌（きら）めき一色に染め上げ、スポーツの祭典を盛り上げたいと考えています。

選手の皆様には、日々の練習で培ったパフォーマンスを存分に発揮されますとともに、感動と温かい交流にあふれ、皆様の心に残る最高の大会となることを願っています。

結びに、今大会の開催に御尽力されました関係者の皆様に心から感謝を申し上げるとともに、今大会の成功と選手の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会会長

青森市長 西秀記（にしひでき）

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」の歓迎のあいさつに先立ち、このたびの令和8年熊本地震及び令和8年8月千葉豪雨により亡くなられた方に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。本大会において選手の皆様がひたむきに競技に臨む姿が、多くの方々に感動と希望を届け、被災地の一日も早い復旧・復興への力となりますことを切に願っております。

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」は、昭和52年の「あすなろ国体」以来、青森県で49年ぶり2度目の開催となります。国体から国スポへの名称変更後、初の完全国スポとなる大会であり、青森市にてテニス競技をはじめとする14競技19種目の正式競技を開催できますことを大変嬉しく思います。また、全国各地からお越しいただく選手や監督、関係者の皆様を、青森市民を代表して心より歓迎いたします。

本市では、スポーツを通じた交流人口の拡大により地域活性化を図る取組を進めており、青森駅周辺の歓迎装飾や各競技会場の応援のぼり旗など、全国から来訪される方々を青森らしい心のこもったおもてなしでお迎えできるよう、市民一丸となって準備してまいりました。

出場される選手の皆様におかれましては、これまで積み重ねてきた努力の成果を存分に発揮し、最高のパフォーマンスを披露されますことを期待しております。

また、大会期間中には、子どもたちがスポーツの楽しさや素晴らしさを体感できる機会づくりを進めることとしており、本大会が多くの方にとって心に残る実り多き大会となることを願っております。

さて、青森市には、静穏な陸奥湾、雄大な八甲田連峰などの豊かな自然のほか、日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」の歴史や魅力を体感できる「ねぶたの家ワ・ラッセ」や、世界遺産にも登録された「三内丸山遺跡」、「小牧野遺跡」など、文化や歴史を感じられる施設が数多くあります。また、全国的にも有名なりんごや新鮮な海の幸など、豊富な食材にも恵まれております。ぜひこの機会に本市の多彩な魅力を堪能していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御活躍を心より祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青森県テニス協会
会長　津島淳

国民スポーツ大会テニス競技の開催にあたり、全国各地からここ青森県を訪れてくださいました選手、監督、役員の皆様を心より歓迎申し上げます。

はじめに、このたびの熊本地震及び豪雨災害により甚大な被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。突然の災害によりいまだに不安な日々をお過ごしのことと存じます。被災された皆様のご健康と、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて本県は、三方を海に囲まれ、八甲田や岩木山など雄大な自然に恵まれた、四季の美しい県です。また、縄文文化をはじめ、長い歴史と豊かな伝統が息づく土地でもあります。今回、全国から集われた皆様をこの青森の地にお迎えできますことを、大変うれしく、誇りに思っております。

選手の皆様には、これまで厳しい練習を積み重ねてこられた成果を存分に発揮され、一球一球に持てる力と技術を込め、最後まであきらめない熱い戦いを繰り広げていただきたいと思います。

テニスは、技術や体力だけではなく、相手を敬う心、そして自分自身と向き合い、最後まで戦い抜く強い精神力が求められる競技です。コート上で交わされる一球一球の真剣勝負が、会場の皆様に大きな感動を届けてくれるものと期待しております。

また、競技を通じて生まれる友情や交流も、国民スポーツ大会の大きな意義の一つです。ぜひこの大会を機会に、全国の仲間との絆を深めていただきたいと思います。そして、青森にお越しいただいたからには、競技だけでなく、青森の魅力もぜひ楽しんでください。旬を迎えた新鮮な海の幸やりんごをはじめとする豊かな食、ねぶた祭りに代表される地域の文化、そして青森県民の温かい「おもてなし」を心ゆくまで味わっていただければ幸いです。選手の皆様が最高のコンディションで競技に臨まれ、これまでの努力の成果を十分に発揮されますことを願っております。そして、本大会が皆様にとりまして忘れられない素晴らしい思い出となりますこと、併せて今後ますますのご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、歓迎の挨拶といたします。



天皇杯　　皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定
昭和 45 年１月 22 日一部改定
昭和 48 年７月 10 日一部改定
昭和 54 年５月　９日一部改定
平成 17 年６月 16 日一部改定
平成 22 年３月 17 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。

平成 30 年４月　１日一部改定
令和　６年１月　１日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　責任をもって保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。

(3)　優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第１条第２項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4)　公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定
昭和 45 年１月 22 日一部改定
昭和 48 年７月 10 日一部改定
昭和 54 年５月　９日一部改定
平成 17 年６月 16 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。
平成 30 年４月　１日一部改定
令和　６年１月　１日一部改定

大 会 役 員

2026年7月31日現在
（順不同・敬称略）

名誉会長	松本　洋平			
会長	遠藤　利明			
副会長	益子　直美	田中　不二夫	三宮　恵利子	森岡　裕策
	河合　純一	宮下　宗一郎		
顧問	森　喜朗	安西　孝之	岡崎　助一	越川　均
	坂元　要	勝田　隆	飯塚　悟	池田　めぐみ
	石井　砂織	植田　実	浦美　奈子	笠師　久美子
	鹿島　丈博	木平　芳定	工藤　保子	久保　正美
	小寺　洋	櫻井　由香	中嶋　実	橋本　聖子
	村松　さやか	室伏　由佳	湯川　和之	吉岡　成子
	久保　直生	藤田　裕司	藤原　誠	室城　信之
	金子　日出澄	貝瀬　智洋	森　晃	土橋　登志久
	石丸　元国	多氣　洋平	井﨑　洋志	鬼頭　有紀子
	長谷川　洋子	吉田　長寿	齋木　尚子	多賀　恒雄
	安藤　淳	上治　丈太郎	湧永　寛仁	三宅　秀一郎
	佐藤　健司	馬場　美香	堺　充廣	南　和文
	宮永　美寿津	千田　健一	中里　壮也	岡本　友章
	大野　淳	永谷　喜一郎	田村　恒彦	蒔田　実
	山﨑　勝洋	浅見　敬子	山口　徹正	田中　伸周
	村田　利衛	建部　彰弘	市野　保己	丸石　博
	中村　ゆり子	齋藤　良太郎	谷田部　和彦	木村　博美
	井上　弘	今川　啓一	近藤　重和	池谷　正成
	大澤　明美	古城　資久	小野　賢二	園山　和夫
	中山　俊行	田中　徹	知念　かおる	出口　弘之
	田邊　哲人	城門　政文	前川　恵	園田　義宜
	布村　幸彦	川原　元則	生島　典明	大沢　陽子
	谷藤　節雄	中村　伸彦	千葉　玲佳	奥山　雅信
	酒井　祐一	藤田　知巳	北條　俊明	田子　昌之
	新井　彰	山﨑　成夫	塩見　清仁	田名部　高雄
	井出　仁	今西　博一	中村　宏平	新保　暢
	森山　喜博	横山　幹夫	花崎　武彦	髙橋　繁浩
	山本　健次	増田　和伯	藤堂　寛	山本　誠三
	松本　恭幸	東　直也	奥田　晃	横尾　英治
	小西　慎太郎	近藤　一幸	堂本　ひさ美	河村　祐一

渡邊浩三　田中稔　高岡晃仁　青木章泰
城戸英敏　小柳勝彦　辛木秀子　宮成康蔵
若林繁幸　岩元幸成　平良朝治　藤原正樹
新宮領毅　川上隆弘　佐藤廣子　奈良隆
小菅司　宇津木妙子　菊幸一　小林久美
寺澤正孝　山口純子　中村裕之　小林茂樹
清水真人　福田かおる　増子宏　矢野和彦
柿田恭良　茂里毅　浅野敦行　津島淳
神田潤一　木村次郎　江渡聡徳　田名部匡代
福士珠美　山中泉　工藤慎康　風張知子
横町俊明　西秀記　濱舘豊光　尾﨑寿一
鈴木進　三本木温　有森裕子　鈴木大地
宮本恒靖　深澤祐二　坂田東一　三須和泰
川合俊一　藤田直志　島田慎二　富山英明
馬場益弘　砂岡良治　金丸恭文　安道光二
河田正也　豊田章男　後藤正幸　中村真一
河合満　村井満　真砂威　土田雅人
町田幸男　大野正次　世耕弘成　笹川善弘
納冨中　土居淳　久保素子　丹羽秀樹
津賀一宏　岩城光英　北村聡　荒川裕生
達増拓也　鶴田有司　吉村美栄子　北村清士
大井川和彦　福田富一　遠藤祐司　大野元裕
熊谷俊人　小谷実可子　岡田伸浩　花角英世
新田八朗　山野之義　石田嵩人　髙野剛
阿部守一　田口義隆　中谷多加二　大村秀章
伊藤歳恭　高橋祥二郎　西脇隆俊　髙橋知史
斎藤元彦　福谷健夫　宮﨑泉　林昭男
丸山達也　越宗孝昌　迫谷章　村岡嗣政
後藤田正純　綾田裕次郎　大塚岩男　今城純子
服部誠太郎　宮原耕史　平田研　木村敬
麻生益直　日隈俊郎　塩田康一　玉城デニー

参与

籾井圭子　大杉住子　中村宇一　廣田美香
阿部祐己　安藤晴美　伊吹信一　井本貴之
蛯沢正勝　大崎光明　大澤祥宏　大澤敏彦
大平陽子　小笠原大佑　川村悟　菊池勲
北向由樹　木明和人　櫛引ユキ子　工藤兼光
工藤悠平　後藤清安　小比類巻正規　今博
斉藤孝昭　齊藤爾　鹿内博　清水悦郎

	高橋　修一	高畑　紀子	田中　順造	田名部　定男
	田端　深雪	鶴賀谷　貴	寺田　達也	夏坂　修
	夏堀　嘉一郎	夏堀　浩一	成田　陽光	花田　栄介
	福士　直治	丸井　裕	三橋　一三	森内　之保留
	山田　知	山谷　清文	吉田　ゆかり	吉俣　洋
	和田　寛司	奥田　忠雄	大田　圭	平間　恵美
	安田　博	松本　史晴	中野　博之	久慈　美穂
	三浦　猛史	千葉　雄文	後村　文子	細谷　健司
	舩木　久義	豊島　信幸	秋野　桂	上沢　謙一
	工藤　泰正	栗林　豊	新屋　孝文	簗田　潮
	佐藤　剛	安田　貴司	東山　国男	大山　力
	山本　恒太	津田　英一	米内　正明	小山内　修
	堤　静子	橋場　保人	目澤　伸一	山口　龍城
	高杉　勝彦	工藤　裕司	中居　敬子	川浪　泰浩
	宮野　孝晶	田村　琢哉	中川　伸吾	里村　智彦
	佐藤　忠全	倉橋　純造	一戸　善正	櫛引　利貞
	七尾　嘉信	佐藤　健一	岡島　裕史	工藤　智久
	三上　千春	高木　伸也	高杉　金之助	小関　幸一
	外崎　れい子			
委員長	山本　浩			
副委員長	岩田　史昭	石田　裕美	出﨑　和夫	
総務委員	松永　敬子	三宅　宏実	稲垣　公雄	笠野　英弘
	関口　直樹	菅原　哲朗	田﨑　博道	松田　基子
	三ヶ田　礼一	山澤　文裕	福田　一稔	宇野　武
	二宮　智浩	小竹　喜也	田内　慎也	秋田　勝行
	中尾　慶一郎	下條　伸彦	江橋　千晴	宮本　忠
	小澤　大樹	小笠原　忠儀	髙井　和紀	
委員	平野　了	髙橋　聖一	永井　雅史	神山　康洋
	福士　幸洋	栗原　崇	竹ノ脇　智秋	鈴木　克宜
	葛西　玲広	濱野　勉	寺澤　淳	黒川　重男
	舟喜　信生	福島　亮一	中梶　秀則	堀越　浩
	加藤　憲二	宮川　良輔	鈴木　章広	川口　巖
	山口　俊昭	岡泉　茂	朝倉　康善	木塚　鉄也
	平井　宏治	濱﨑　滿	岸川　剛之	西原　斗司男
	山口　鉄正	菅原　正幸	伊東　毅嗣	長南　哲生
	衛藤　敬輔	上久保　僚	中段　亜由美	鈴木　信吾
	内田　淳二	関根　明子	中山　二三男	﨑村　尚人
	吉田　由美子	杉本　好二	國重　さゆり	髙梨　治紀

川口雅三　田邊賢一　山口剛　富澤佑也
政岡航大　坊百花　井澤貫太　田口雅紀
寺垣佑介　柿﨑繁信　橋口真夕　田中遥太
町屋毅博　山本高史　松橋伸哉　長谷川光昭
白幡博久　田畑幸浩　加藤雄樹　小林健也
幸田和洋　大貫大輔　小池則之　今井隆元
三浦理　舟木雅美　阿部哲也　片岡英史
福居久志　三武紀子　長坂嘉久　井澤克行
林剛史　稲葉晴伸　森島哲也　和田吉史
中野真吾　佐々木智也　木原哲也　越智敏文
小林悟　中嶋純也　前田康博　松本守正
松本綾子　中田健治　石津雅之　加藤泰
高田孝行　日野剛　前田義朗　笠井康行
尾鷲一成　川端利行　濱本昌宏　吉野賢一郎
都甲尚生　山元尚史　黒田裕史　髙野瑞洋
遠藤信哉　角屋憲正　千葉雅也　菅間裕晃
岡崎正彦　角田真司　加藤木紳克　柄澤宏之
杉田聡　塩田憲司　藤丸伸和　河野公紀
碓井稔　武田知己　井上哲　今後元彦
沼田守弘　田部長右衛門　松井守　吉岡直彦
髙岡晃仁　葛目憲昭　寺崎雅巳　田島祥嗣
荒木健治　平江公一　黒木淳一郎　城間敏生
丹羽浩彰

競 技 会 役 員

2026年7月31日現在
（順不同・敬称略）

名誉会長	西　秀記			
会長	深澤祐二			
副会長	川廷尚弘	馬場宏之	木下信行	柿崎泰明
	津島淳	工藤拓実		
顧問	猪谷千春	内山勝	嶋岡正充	武正八重子
	寺澤辰麿	辻晴雄	八木知徳	長井健
	浅沼道成	竹田悟	小野寺五典	大塚由弥子
	法龍院充	鈴木崇夫	広野幹夫	岡田直樹
	安間保行	栗岡威	日下啓二	上羅廣
	森二郎	金子昌彦	上野通子	坂田寛
	小林繁	城内実	大友克之	石川清
	川崎二郎	荒谷善夫	村尾修	松崎直敏
	滑川琢也	長坂隆司	井岡正徳	平松敏男
	巣守佳之	杉本和子	西村弥子	土屋高明
	十川道信	近藤明稔	大塚岩男	柏井之彦
	上和田茂	二口稔	小手川励人	柴田清
	松尾正一郎	大西儀朋	秋田義久	玉城智
	奈良岡隆	工藤裕司		
参与	赤平勇人	小豆畑緑	天内慎也	蛯名和子
	大矢保	小熊ひと美	小倉尚裕	柿崎孝治
	軽米智雅子	木戸喜美男	木下靖	木村淳司
	工藤健	工藤夕介	里村誠悦	澁谷洋子
	関貴光	相馬純子	竹山美虎	舘山善也
	中田靖人	中村美津緒	奈良祥孝	長谷川章悦
	花田明仁	藤田誠	万徳なお子	村川みどり
	山田千里	山本武朝	渡部伸広	天内博康
	谷藤節雄	中村伸彦	千葉玲佳	奥山雅信
	川村仁	齋藤美鈴	土岐志麻	松浦淳
	赤坂寛	横山英大	横内修	舘山新
	小野正貴	金谷浩光	千葉康伸	齋藤賢剛
	中村敦	白戸高史	大久保綾子	佐藤秀彦
	横内信満	工藤拓実	大久保文人	木村颯希
	土岐政温	奈良英文	今国弘	佐々木正幸

	泉　宏　明	角　田　毅	太田　直樹	遠嶋　祥剛
	船橋　正明	舘　山　公	髙野　雅子	齊藤　寿一
	佐々木和人	里村　誠悦	倉橋　純造	一戸　善正
	山本　知也	前　田　済	津島　淳	大瀬　良一
	諏訪　正徳	今井　正樹	河野　満	井戸端隆雄
	中村　雅彦	大　矢　保	服部　一雄	澁谷　洋子
	正部家淳司	高橋　修一	菅原　文子	中嶋與志久
	長　尾　信	川浪　泰浩	相馬　克典	黒丸　健吾
	中川　伸吾	今　卓　也	花　田　惇	髙橋　秀親
	佐藤　健一	盛　健　一	中村　紀徳	白鳥　晶司
	小形　峰雄	工藤　智久	大西　透信	北畠　滋郎
	福田真奈美	成田　幾末	佐々木重光	森　　隆
	工藤　拓実	下山　正孝	菊池憲太郎	駒井　一雄
	矢部　広明	泉　山　元	高橋　常治	
委員長	土橋登志久			
副委員長	田澤　康治	中田真紀子	下山　正孝	越　善　隆
委　員	坂井　利彰	植　田　実	佐藤　雅治	蒲　生　清
	井澤　信一	田中由布子	福島　敏夫	堀川　映子
	西　村　覚	神　尾　米	松岡　修造	井上　直子
	伊達　公子	長野　宏美	甘露寺重房	今井　茂樹
	大久保範子	手塚　玲美	草野　満代	坂井　幸司
	鷲田　典之	松嶋　琢次郎	高橋　修一	打谷　桂子

国内大会委員会　国民スポーツ大会専門部

（順不同・敬称略）

部長	神山　康洋				
副部長	田中　信子				
常任部員	八木　真理	鈴木　宏	小林　淑一		
地域TA推薦部員	伊佐治　正章	越　善隆	中村　博敏	遠藤　武次	
	山森　祐輔	西村　覚	堀川　映子	中野　真仁	
事務局	野澤　直之				

トーナメント運営委員会

（順不同・敬称略）

大会ディレクター	神山　康洋			
アシスタントディレクター	田中　信子			
委員	八木　真理	鈴木　宏	小林　淑一	野澤　直之
	越　善隆	下山　正孝	前田　美佳	川浪　和寿
	栗生　満貴	中堀　仁史	隅田　佳文	奈良　壮

競 技 役 員

2026年7月31日現在
（順不同・敬称略）

競技本部長	越 善 隆			
競技副本部長	小 玉 正 志	田 中 伸 夫		
総務委員長	下 山 正 孝			
総務副委員長	鈴 木 宏	種 市 文 子		
総 務 委 員	野 澤 直 之	百 田 厚 子	藤 田 孝 子	李 永 俊
	浅 利 美 穂	稲 葉 淳 子	渡辺 勢津子	斎 藤 秋 夫
	石郷岡 郁子	廣 津 明 男	横 山 賢	武 田 凌 太
	佐 藤 節 雄	越 田 昌 樹	越 田 広 美	尾 野 浩 市
競技委員長	前 田 美 佳			
競技副委員長	森 淳 子	田 中 信 子	八 木 真 理	
競 技 委 員	小 林 淑 一			
進行委員長	川 浪 和 寿			
進行副委員長	木 村 正 樹			
進 行 委 員	松 江 香 澄	和 田 さとみ	畑中 久美子	舘 田 綾 子
	横山 リカ子	山下 佳乃子	小 島 愛	下 村 陽 子
	西 田 育 子	小笠原 淳子	齋 藤 順 子	谷 口 礼 子
	木 立 幸 子	三 浦 弘 子	一戸 ひろみ	後 藤 貴 子
	川 原 由 美	清川 由美子	盛 こずえ	根川 みい子
	地 名 徳 子	根 川 茂 子	稲 垣 陽 子	大 塚 優 子
	佐藤 由美子	佐 藤 奈 月	下 山 里 美	下 館 直 子
	佐々木 奈緒美	入 谷 洋 子	柳 谷 ひろみ	羽 賀 順 子
	竹 村 雅 子	十 倉 典 子	大友 美香子	田 中 智 美
	鳴海 恵理子	神 里 佳	加 藤 英 里	川 口 直 美
	森 下 良 子			
会場委員長	栗 生 満 貴			
会場副委員長	菅 原 大 智	沼宮内 一史		
会 場 委 員	中 田 隼 太	花 田 幸 善	佐 藤 圭	
JBSコントロール委員長	中 堀 仁 史			
JBSコントロール副委員長	宮 本 将 二			
JBSコントロール委員	小 山 内 卓	徳 田 澄 子	亀 島 央	高 松 淳 也
	福 士 貴 大	松 本 治 子	小 林 青 空	山 田 貴 幸
	長 内 風 太	相 馬 奈 緒	西 村 勇 士	岡 田 翔 真
	山下 可名子	古 跡 直 樹	田 中 泰 則	三 上 有 之

	村上　繁樹	兼子　達也	伊達　誠	和田　武志
	尾野　もも花			
記録報道委員長	隅田　佳文			
記録報道副委員長	吉田　斉	猪股　秀樹		
記録報道委員	服部　円佳	沼宮内　一史	佐藤　将	高杉　洋輝
	菊池　大貴	菊池　賢一郎	伝法谷　英樹	
審判委員長	奈良　壮			
審判副委員長	宮内　善浩	久慈　智子		
審判委員	安宍　美希	木村　優子	中田　みき	杉浦　綾子
	須藤　有加	野崎　智子	佐藤　世津子	高田　美紀子
	前田　ふみ子	千葉　由美	水口　和泉	加藤　美奈子
	近江　ゆかり	小野　知郷	三上　美喜子	坂　康子
	其田　眞紀子	藤田　文子	工藤　真起子	鈴木　和美
	三上　良子	山崎　春香	柴田　リカ	種市　聡子
	渋谷　真由美	中村　のり子	神馬　智也	畠山　隼
	相馬　悠絆	米内山　幹弘	安河内　荘蔵	亀田　十夢
	竹内　涼河	中村　音々	花田　倫成	岩舘　こゆ
	蛇口　敢登	森　勇人	小林　心	三村　忠寛
	石戸谷　翼	前田　優月	藤本　蓮	太田　華心
	佐々木　樹季	鹿内　広太	三浦　暖真	大橋　心月
	中嶋　玲依	伊藤　陽翔	山田　大輝	石庭　行記
	野田　和明	小坂　優歌	小熊　陽凪多	柿崎　祥
	青山　昌人	細越　治子	中村　昭則	山本　渉
	山口　達也	荒木　由美	竹ノ内　啓一	鳴海　幹也
	中村　甲吉	神園　英樹	木ノ戸　功	河田　聡子
	竹浪　深雪	新川　以智子	成谷　郁子	渡辺　和佳子
	岩本　美和	中嶋　正博	長内　佑樹	大友　寛行
	川浪　哲如	工藤　央達	遠島　一	熊谷　利秋
総合成績計算委員長	神山　康洋			

競技補助員

（順不同）

青森県立青森高等学校
青森県立青森西高等学校
青森県立青森東高等学校
青森県立青森工業高等学校
青森県立青森商業高等学校
青森県立青森南高等学校
青森県立青森北高等学校
青森県立青森中央高等学校
青森山田高等学校
青森県立弘前高等学校
青森県立弘前工業高等学校
弘前学院聖愛高等学校
青森県立八戸高等学校
青森県立八戸工業高等学校
青森県立八戸西高等学校
青森県立五所川原高等学校
青森県立五所川原工科高等学校

競技会係員

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実施本部職員

競技会補助員

青森市運営ボランティアの皆様

第８０回国民スポーツ大会　本大会実施要項総則

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

青森県で開催する第80回国民スポーツ大会「青の煌(きら)めきあおもり国スポ」は、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに掲げ、スポーツによる感動や交流の輪が広がるとともに、本県のあらゆる魅力を発信するなど、県民総参加による青森県らしさあふれる大会を目指して開催する。

実　施　方　針

１　実施競技

⑴　正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

⑵　公開競技（７競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

⑶　デモンストレーションスポーツ（39 競技）

いきいき太極拳、インディアカ、ウオーキング、ウォークビンゴ、エンジョイ！グラウンド・ゴルフ、オリエンテーリング、カーリング、空道、女子ソフトボール、スポーツウエルネス吹矢、スポーツチャンバラ、ソフトバレーボール、ターゲット・バードゴルフ、ダンススポーツ、ドッジボール、年齢別ソフトテニス、年齢別テニス、年齢別バドミントン、ノルディックウォーキング、パークゴルフ、パラグライディング、ビリヤード、ビーチサッカー、ファイン・ボール、フライングディスク、ふれあいゲートボール、ふれあいソフトボール、ふれあいボウリング、フロアボール、ペタンク、マスターズスイミング、マスターズ陸上競技、マラソン、マラソン＆ウォーキング、モルック、ユニカール、ユニバーサルホッケー、ラージボール卓球、Let’s Enjoy バウンドテニス

⑷　特別競技（１競技）

高等学校野球

２　会期及び会場地

⑴　正式競技・特別競技（11 市、11 町、2 村：計 24 市町村）

会　　期	会　場　地
2026年10月10日（土） ～10月20日（火） 〔11日間〕	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、西目屋村、藤崎町、七戸町、六戸町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、山梨県北杜市
2026年９月３日（木） ～９月13日（日） 〔11日間〕	青森市、弘前市、十和田市、三沢市、むつ市、平内町、西目屋村、野辺地町、六ヶ所村、宮城県利府町 ※　水泳、ローイング、ホッケー、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、セーリング、ハンドボール、相撲、ライフル射撃、カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）、クレー射撃、ゴルフ、トライアスロン競技会は上記会場地で実施
2026年10月２日（金） ～10月７日（水） 〔６日間〕	青森市、弘前市 ※　アーチェリー、高等学校野球競技会は上記会場地で実施

⑵　公開競技（３市２町：計５市町）

会　　期	会　場　地
2026年８月８日（土） ～10月４日（日）	十和田市、三沢市、平川市、平内町、藤崎町

⑶　デモンストレーションスポーツ（７市、16 町、６村：計 29 市町村）

会　　期	会　場　地
2026年５月10日（日） ～10月４日（日）	青森市、弘前市、八戸市、十和田市、三沢市、むつ市、平川市、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、鰺ヶ沢町、深浦町、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町、横浜町、東北町、おいらせ町、大間町、東通村、風間浦村、佐井村、三戸町、田子町、階上町、新郷村

⑷　文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2026 年１月１日から 2026 年 12 月 31 日までの期間で、原則として、県内市町村で開催する。

３　競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

４　ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名がある同意書を所持すること。

５　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 80 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【　公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ　https://www.japan-sports.or.jp/　】

⑴　参加資格

ア　日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ｱ)　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」(「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。)

(ｲ)　少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「８　参加申込方法」で定めた本戦参加申込締切時に１年以上在籍していること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。

(ｳ)　成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　少年種別年齢域にあった時点において前号(ｲ)に該当していた者であること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

［注］　上記(ｳ)b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ　選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ　第 78 回又は第 79 回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第 78 回又は第 79 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ)　成年種別

a　「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

［注］　a 及び b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

［注］　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e　令和６年能登半島地震に係る参加資格特例措置を活用する者（別記６「令和６年能登

半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

（ｲ）　少年種別

ａ　「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

ｂ　結婚又は離婚に係る者

ｃ　一家転住に係る者（別記２「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

［注］　ａからｃは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

ｄ　JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記３「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

ｅ　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

ｆ　令和６年能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ　選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

カ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ　選手、監督並びに本部役員帯同のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加前の１年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク　上記のほか、選手については次のとおりとする。

（ｱ）　都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

（ｲ）　健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

（ｳ）　ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ　上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

⑵　所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア　成年種別

（ｱ）　居住地を示す現住所

（ｲ）　勤務地

（ｳ）　ふるさと（別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

［注］　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受けふるさと選手として参加する者を含む。

イ　少年種別

（ｱ）　居住地を示す現住所

（ｲ）　「学校教育法」第１条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

（ｳ）　勤務地

（ｴ）　別記３「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※　「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2026年４月30日以前から本大会終了時（2026年10月20日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

［成年種別］

a　別記４「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

［少年種別］

a　別記２「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者

b　別記４「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

d　別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

⑶　選手の年齢基準

ア　選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ｱ)　成年種別に参加する者は、2008年４月１日以前に生まれた者とする。

(ｲ)　少年種別に参加する者は､2008年４月２日から2011年４月１日までに生まれた者とする。

(ｳ)　年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2026年４月１日を基準とする。

イ　日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学３年生（2011年４月２日から2012年４月１日までに生まれた者）とする。

⑷　前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議の上、日本スポーツ協会がその可否を決定する

６　各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

⑴　次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア　競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第１位から第８位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第３位以下を切り捨てる。

		１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位
種別	４人以下	24点	21点	18点	15点	12点	９点	６点	３点
	５人以上７人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	５点
	８人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	８点
種目	――――――	８点	７点	６点	５点	４点	３点	２点	１点

［注］　「種別」：種別などに与える競技得点　　「種目」：種目などに与える競技得点

イ　参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

⑵　各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

⑶　参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7　表彰

⑴　冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第１位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

⑵　冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

⑶　各正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

⑷　各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

⑸　各競技の各種別及び各種目などの第１位から第８位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に１枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

⑹　各正式競技及び特別競技の第１位から第３位までの選手にメダルを授与する。

8　参加申込方法

⑴　参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）及び競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛てに申込むものとする。

⑵　参加申込締切

参加申込は、定められた締切日時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

なお、各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

⑶　参加申込締切日時

締切日時	競　　技
2026 年 ８月 13 日（木） 午後５時 【15 競技】	水泳、ローイング、ホッケー、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、セーリング、ハンドボール、自転車、相撲、ライフル射撃、カヌー、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

2026 年 ９月３日（木） 午後５時 【24 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、バレーボール（６人制）、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

⑷　参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

⑸　公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

⑹　選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛てに届け出なければならない。

ア　全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ　青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ　青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ各競技会場地市町村実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

９　棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10　大会参加負担金

⑴　大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人あたりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	３，０００円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	６，０００円

［注］　地震、風水害、感染症及びその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

⑵　大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入期限　2026 年９月４日（金）

イ　納 入 先　みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　513729

公益財団法人日本スポーツ協会

11　宿泊申込

大会参加者は、青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12　都道府県選手団本部役員編成

⑴　都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ　参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ　参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

⑵　上記役員のほか、５名以内の顧問を設けることができる。

⑶　上記⑴及び⑵による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

⑷　上記⑴及び⑵による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

⑸　都道府県選手団本部役員の１日あたりの編成人数については、上記⑴及び⑵による人数を上限とする。

⑹　都道府県選手団本部役員の参加申込は、2026 年９月３日（木）午後５時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13　視察員

⑴　視察員は、１都道府県３名以内とする。ただし、2027 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定又は内定している県については、宮崎県 100 名以内、長野県及び群馬県 60 名以内、島根県及び奈良県 40 名以内とする。

⑵　都道府県の視察員の参加申込は、2026 年９月３日（木）午後５時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14　参加章及び AD カードの交付

参加章及び AD カードは、次の者に交付する。

⑴　参加章

ア　都道府県選手団の本部役員、監督及び選手

イ　大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員

ウ　公開競技及びデモンストレーションスポーツ参加者

⑵　AD カード（Accreditation　Card）

ア　都道府県選手団

イ　大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員

ウ　大会主催者及び競技会主催者が認めた者

エ　公開競技に参加する選手、監督及び役員

15　参加上の注意

⑴　大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。

⑵　各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16　個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ各競技会場地市町村実行委員会及び国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

⑴　個人情報の取り扱い

ア　利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ　公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
(ｲ)　競技会場内におけるアナウンス等による紹介
(ｳ)　競技会場内外の掲示板等への掲載
(ｴ)　大会関連ホームページへの掲載
(ｵ)　報道機関への提供

ウ　競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
(ｲ)　国スポ関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
(ｳ)　国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
(ｴ)　次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

⑵　肖像権に関する取り扱い

ア　写真

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ　写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ　映像

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

⑶　対応

ア　承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾

を確認することがある。

イ　役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17　都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

⑴　都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

⑵　都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

⑶　参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

⑷　ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

⑸　都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

⑹　参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

⑺　競技運営に差し支えない限り、青森県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18　国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

⑴　本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。

⑵　大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり 1,000 円）を、日本スポーツ協会に納入する。

⑶　納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ通知する。

19　青の煌（きら）めきあおもり国スポの実施目標

⑴　スポーツによる感動の創出と地域へのスポーツの定着

スポーツを「する」「みる」「ささえる」など多様な場面で、感動が創出されることによ

り、県民の誰もがスポーツに関わる楽しさを感じることができる環境が整備されるとともに、県内各地で地域住民がスポーツに取り組む習慣が身につき、スポーツが地域に定着する大会とする。

⑵　自発的、積極的な県民参加による地域の活性化

県民一人ひとりが、開催準備に自発的、積極的に参加するとともに、スポーツを通した健康づくりなどに一丸となって取り組むことにより、全ての県民が心身ともに健康な状態で大会を迎え、その後も各地域が元気で活力に満ちた姿となる大会とする。

⑶　来県者への熱い心でのおもてなしとあらゆる魅力の発信

大会に参加する選手・監督・役員・応援者など数多くの来県者を熱いおもてなしの心で迎えるとともに、大会期間を通して本県のあらゆる魅力を体感していただくことにより、再び本県を訪問したいという気持ちを喚起する大会とする。

⑷　北国ならではの大会運営

北国ならではの気象条件を考慮し、総合開・閉会式を屋内開催とするとともに、競技特性も考慮の上、会期前競技を多く設定することなどにより選手ファーストを意識した大会とする。

20　その他

⑴　参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

⑵　大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

⑶　その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項及び同細則による。

別記１　「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

１　成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号及び第 10 項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

⑴　居住地を示す現住所

⑵　勤務地

⑶　ふるさと

２　「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第３項により取り扱うものとする。

３　我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者及び『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の４月 30 日（冬季大会は前年の４月 30 日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。

４　「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

５　「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

６　ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。

７　参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛てに提出する。

別記２　「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

１　次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③）に抵触しないものとする。

⑴　この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

⑵　本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア　親の転勤による一家の転居

イ　親の結婚、離婚による一家の転居

ウ　上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

⑶　転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。

ア　本特例を受けようとする参加者は、下記２⑴の場合は転居元、下記２⑵の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。

イ　報告を受けた都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記２⑴の場合は転居先、下記２⑵の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

２　本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。

⑴　転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合

イ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

⑵　転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記３　「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記１に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号及び第 10 項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の２～４の特例を適用する。

１　対象者

⑴　少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者

⑵　成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、又は同アカデミーに在籍する者

２　少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第１項ー⑴に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー2）- ②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第１条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

３　成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第１項ー⑵に定める成年種別年齢域の選手は、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第２項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

４　国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第１項ー⑴に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

［注］　本特例第１項ー⑵に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

５　その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、国民スポーツ大会委員会の決議を経て当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記４　「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

１　特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

⑴　第 33 回オリンピック競技大会（2024 年・パリ）に参加した者。

⑵　2026 年４月 30 日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア　JOC オリンピック強化指定選手

イ　各競技（種目）における国内ランキング上位 10 位以内の者

ウ　中央競技団体が定めた強化指定選手

※　強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

２　特例の内容

⑴　予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

⑵　資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア　居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

（ｱ）　2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

ａ　自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること

ｂ　当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること

ｃ　当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること

ｄ　当該住居に主要な家財道具が存すること

（ｲ）　合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ　勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

（ｱ）　2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

（ｲ）　当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

３　国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③のとおりとする。

別記５　「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

１　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の６県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

２　特例の内容

⑴　特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア　2011 年３月 11 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ　災害が発生しなかったと仮定した場合、2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

⑵　避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 78 回又は第 79 回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ)　2011 年３月 11 日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ)　移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が 2026 年４月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］　「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場す

ることができる。

イ　本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 79 回大会又は第 80 回大会に参加した者が、第 81 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

⑶　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア　卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地

イ　災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校又は高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者。

別記６　「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

１　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の４県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

２　特例の内容

⑴　特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア　2024 年１月１日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ　災害が発生しなかったと仮定した場合、2026 年４月 30 日以前から当該大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

⑵　避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 78 回大会又は第 79 回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ)　2024 年１月１日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ)　移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が 2026 年４月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］　「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学してい

る実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ　本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 79 回大会又は第 80 回大会に参加した者が、第 81 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

⑶　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア　卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地

イ　災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校又は高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者。

〔４〕テニス競技

１　期　　日　　2026 年 10 月 11 日（日）から 10 月 14 日（水）まで（４日間）

種　別	10 月 11 日（日）	10 月 12 日（月）	10 月 13 日（火）	10 月 14 日（水）
成年男子	１　回　戦	２　回　戦	準々決勝 準 決 勝 5～8位決定１回戦	決　　勝 ３～８位決定戦 表彰式
成年女子	１　回　戦	２　回　戦	準々決勝 準 決 勝 5～8位決定１回戦	決　　勝 ３～８位決定戦 表彰式
少年男子	１　回　戦	２　回　戦 ３　回　戦	準々決勝 準 決 勝 5～8位決定１回戦	決　　勝 ３～８位決定戦 表彰式
少年女子	１　回　戦	２　回　戦 ３　回　戦	準々決勝 準 決 勝 5～8位決定１回戦	決　　勝 ３～８位決定戦 表彰式

２　会　　場　　青森市（成年男子、成年女子、少年男子、少年女子）
新青森県総合運動公園テニスコート　砂入り人工芝 24 面

３　種別及び参加人数

種 別	監 督	選 手	チーム数	選手計	合計（人）
成年男子	2	2	32	64	410
成年女子		2	32	64	
少年男子		2	47	94	
少年女子		2	47	94	

（注）　選手・監督の兼任はできない。

（注）　監督は参加申込みの際に担当種別を入力しなければならない。

（注）　２会場開催の際、３種別以上参加の都道府県は、監督を両会場に１名ずつ配置しなければならない。

４　競技上の規程及び方法

⑴　競技規則は、公益財団法人日本テニス協会発行「JTA テニスルールブック 2026」を適用する。

⑵　競技は、各種別それぞれ３ポイント（単２・複１）とし、その勝敗は獲得したポイント数の多少によって決める。

⑶　競技は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。

⑷　試合はすべて８ゲームズプロセット、ノーアドバンテージ方式とする。

⑸　試合は、１回戦より勝敗決定後に打ち切る。

⑹　少年男子並びに少年女子は、サービスノーレットルールを採用する。

５　予選方法

⑴　各都道府県協会は、都道府県大会を実施し、種別ごとにブロック大会及び本大会に出場する代表チームを決定する。（ブロック大会及び本大会出場選手の順位は、都道府県予選大会の順位による。）

⑵　ブロック大会の主管協会は、本大会実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に出場する代表チーム及び監督・選手を決定する。

⑶　ブロック大会の開催期日・会場は、各主管協会から通知する。

⑷　ブロック大会区分及び代表チーム数は、下記のとおりとする。

ブロック名	都　道　府　県　名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東　北	岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3	5	5
関　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	6	6	8	8
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	3	5	5
東　海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	3	4	4
近　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4	5	6	6
中　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	4	3	5	5
四　国	香川、徳島、愛媛、高知	3	2	4	4
九　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	6	5	8	8
開催県	青森	1	1	1	1
計		32	32	47	47

⑸　ブロック大会の申込み及び問合せ場所

ブロック名	所　在　地	担当協会
北海道	〒062-0905　北海道札幌市豊平区豊平五条十一丁目１番１号 北海道立総合体育センター内	北海道テニス協会
東　北	〒971-8131　福島県いわき市常磐上矢田町磐ノ作 43 番地の 24 グリーンハイツ 103 号室	東北テニス協会
関　東	〒151-0072　東京都渋谷区幡ヶ谷一丁目１番２号 朝日生命幡ヶ谷ビル２F	関東テニス協会
北信越	〒939-2376　富山県富山市八尾町福島 93 番地	北信越テニス協会
東　海	〒464-0836　愛知県名古屋市千種区菊坂町二丁目２番地 シャトレタカギ３Ａ	東海テニス協会
近　畿	〒550-0004　大阪府大阪市西区靭本町二丁目１番 14 号 靭テニスセンター内	関西テニス協会
中　国	〒732-0052　広島県広島市東区光町二丁目９番 30 号 竹本ビル３階 305 号	中国テニス協会
四　国	〒790-0031　愛媛県松山市雄郡二丁目９番 25 号 第１石原ビル 106 号	四国テニス協会
九　州	〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院二丁目 14 番 26 号 東洋薬院ビル５F	九州テニス協会

６　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるもののほか、次による。

⑴　公益財団法人日本テニス協会の登録選手（ジュニア、一般、プロフェッショナル）若しくは、都道府県テニス協会及び傘下組織に登録した選手であること。

⑵　少年種別に参加できる選手には、2011 年４月２日から 2012 年４月１日までの間に生まれた中学３年生を含むものとする。

⑶　監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認テニスコーチ２、公認テニスコーチ３、公認テニスコーチ４、公認テニス教師、公認テニス上級教師のいずれかの資格を有する者であること。（教師は JPTA 資格保有者も含む）

⑷　参加資格や年齢基準の解釈については、公益財団法人日本スポーツ協会ホームページを参照すること。

７　総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

⑴　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成　年　男　子 成　年　女　子 少　年　男　子 少　年　女　子	成　年　女　子 少　年　女　子	各種別とも１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位 12 点、６位９点、７位６点、８位３点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

⑵　参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

８　表　　彰

⑴　男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に、表彰状を授与する。

⑵　男女総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

⑶　各種別の第１位から第８位までに、賞状を授与する。

⑷　上記の各第１位から第８位の都道府県選手団は、本稿 11 その他(8)に表記の表彰式には必ず参列のこと。

９　参加申込方法

総則８に定めるもののほか、次による。

⑴　所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2026 年９月３日（木）午後５時までに申込手続を完了すること。

⑵　締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

⑶　参加申込締切後の選手・監督の変更は、疾病、傷害等の特別な場合にのみ認めるものとし、都道府県予選の順位結果が確認できる資料を必ず添付すること。

なお、その取扱いについては次のとおりとする。

ア　提出期日 2026 年 10 月９日（金）の代表者・監督会議まで

イ　提 出 先

(ｱ)　〒160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE ７F
公益財団法人日本テニス協会
TEL 03-6812-9271 FAX 03-6812-9275
E-mail　japangames@jta-tennis.or.jp

(ｲ)　〒030-8570　青森県青森市長島一丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局
（青森県国スポ・障スポ局　競技式典課　競技運営グループ担当）
TEL 017-734-9771　FAX 017-734-8015
E-mail　aomori2026kyougiunei@pref.aomori.lg.jp

(ｳ)　〒038-8505　青森県青森市柳川二丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会事務局
（青森市経済部　国スポ・障スポ競技課）
TEL 017-761-4458　FAX 017-761-4489
E-mail　tennis2026@city.aomori.aomori.jp

なお、(ｱ) (ｲ) (ｳ) については、原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、上記への提出後、別途、所定の手続により、参加申込情報を修正すること。

10　参加上の注意

⑴　ドロー番号の若いチームの選手は、都道府県名が分かるようにするため、プレー中には第三者からよく見え、且つ、プレーの妨げにならない場所（シャツ・ワンピースの場合は上着部分）に赤いリボンをつけること。なお、赤いリボンは開催地にて用意する。

⑵　プレー中の選手及びベンチコーチの服装及び用具は、JTA テニスルールブック 2026「コードオブコンダクト」によるほか、テニスウェアとする。（ただし、チーム対抗戦の特例として、国民スポーツ大会テニス競技会の時のみ、都道府県スポーツ協会及び都道府県テニス協会が支給するユニフォームは、いかなるものでもその着用が認められる。）

⑶　サスペンションポイント制度を「JTA テニスルールブック 2026」に則り適用する。

11　その他

⑴　参加上の連絡事項等の郵送及び FAX 等は、各都道府県テニス協会宛て行うものとする。

⑵　使用ボールは、DUNLOP フォート（公益財団法人日本テニス協会公認ボール）とする。

⑶　代表者・監督会議及び表彰式に参加する選手・監督の服装は、都道府県スポーツ協会支給のユニフォームとする。

⑷　天候その他により、日程及び競技方法を変更する場合もある。

⑸　公式練習は 2026 年 10 月９日（金）とする。

⑹　組合せ抽選会

日　時　　2026年９月４日（金）　午後３時30分

場　所　　JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE内会議室

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号

TEL 03-6812-9271 FAX 03-6812-9275

⑺　代表者・監督会議

日　時　　2026年10月９日（金）　午後５時

場　所　　青森市民ホール

〒038-0012　青森県青森市柳川一丁目２番14号

TEL 017-722-3770

（注）　本会議には、各チーム代表者は必ず出席すること。

また、提出した参加申込ファイルの写しを持参すること。

出席者の服装は都道府県スポーツ協会及び都道府県テニス協会が支給のユニフォームとする。

代表者・監督会議は公式行事でありコードオブコンダクトを適用する。

⑻　表彰式

日　時　　2026年10月14日（水）　競技終了後（全種別）

場　所　　新青森県総合運動公園ひだまり広場　大型テント

〒039-3505　青森県青森市大字宮田字高瀬22番地２

TEL 017-737-0610

競　技　会　日　程

月　日	内　容	時　間	会　場
10/9(金)	公式練習	9:00　～　16:30	新青森県総合運動公園テニスコート
	代表者・監督会議	17:00　～　18:00	青森市民ホール　ホール
10/11(日)	公式練習	8:20　～　8:50	新青森県総合運動公園テニスコート
	試合開始	9:00　～	
	練習コート開放	9:00　～　17:00	青森市スポーツ広場テニスコート
10/12(月)	公式練習	8:20　～　8:50	新青森県総合運動公園テニスコート
	試合開始	9:00　～	
	練習コート開放	9:00　～　17:00	青森市スポーツ広場テニスコート
10/13(火)	公式練習	8:20　～　8:50	新青森県総合運動公園テニスコート
	試合開始	9:00　～	
10/14(水)	公式練習	8:20　～　8:50	新青森県総合運動公園テニスコート
	試合開始	9:00　～	
	種別表彰式・総合表彰式	14:00　～（予定）	新青森県総合運動公園ひだまり広場　大型テント内

青森市

〔４〕テニス競技

競 技 日 程

代表者・監督会議	10月9日（金）17時00分	会場：青森市民ホール

【成年男子・成年女子・少年男子・少年女子】　　会場：新青森県総合運動公園テニスコート　（砂入り人工芝24面）

10月11日（日）	10月12日（月）	10月13日（火）	10月14日（水）
成年男子　1回戦　9:00 （4試合） 1回戦　F.B （12試合）	成年男子　2回戦　9:00 （8試合）	成年男子　準々決勝　9:00 成年男子　準決勝　F.B 成年男子　5～8位　F.B	成年男子　決勝戦　9:00 成年男子　3～4位　9:00 成年男子　5～6位　9:00 成年男子　7～8位　9:00
成年女子　1回戦　9:00 （5試合） 成年女子　1回戦　F.B （11試合）	成年女子　2回戦　F.B （8試合）	成年女子　準々決勝　9:00 成年女子　準決勝　F.B 成年女子　5～8位　F.B	成年女子　決勝戦　9:00 成年女子　3～4位　9:00 成年女子　5～6位　9:00 成年女子　7～8位　9:00
少年男子　1回戦　9:00 （15試合）	少年男子　2回戦　F.B （16試合） 少年男子　3回戦　F.B （8試合）	少年男子　準々決勝　9:00 少年男子　準決勝　F.B 少年男子　5～8位　F.B	少年男子　決勝戦　9:00 少年男子　3～4位　9:00 少年男子　5～6位　9:00 少年男子　7～8位　9:00
少年女子　1回戦　F.B （15試合）	少年女子　2回戦　9:00 （16試合） 少年女子　3回戦　F.B （8試合）	少年女子　準々決勝　9:00 少年女子　準決勝　F.B 少年女子　5～8位　F.B	少年女子　決勝戦　9:00 少年女子　3～4位　9:00 少年女子　5～6位　9:00 少年女子　7～8位　9:00

※F.B(Followed by)前試合に引き続き開始

総合表彰式・種別表彰式	10月14日（水）14時00分（予定） 会場：新青森県総合運動公園ひだまり広場　大型テント

テニス競技組合せ表

【 成 年 男 子 】

会場：新青森県総合運動公園テニスコート

都道府県名	10月11日 1回戦	10月12日 2回戦	10月13日 準々決勝	10月13日 準決勝	10月14日 決　勝	10月13日 準決勝	10月13日 準々決勝	10月12日 2回戦	10月11日 1回戦	都道府県名
① 1 愛媛県										茨城県 17 ⑥
2 秋田県										鹿児島県 18
3 青森県										大阪府 19
4 栃木県										岩手県 20
5 神奈川県										徳島県 21
6 富山県										群馬県 22
7 島根県										三重県 23 ③
⑦ 8 岡山県										宮崎県 24 ⑤
④ 9 福井県										京都府 25
10 静岡県										福岡県 26
11 埼玉県										熊本県 27
12 沖縄県										大分県 28
13 北海道										山口県 29
14 広島県										和歌山県 30
15 宮城県										香川県 31
⑧ 16 滋賀県										東京都 32 ②

順位決定戦　（10月13日）　（10月14日）

7・8位決定戦　5・6位決定戦　3・4位決定戦

1～8
9～16
17～24
25～32

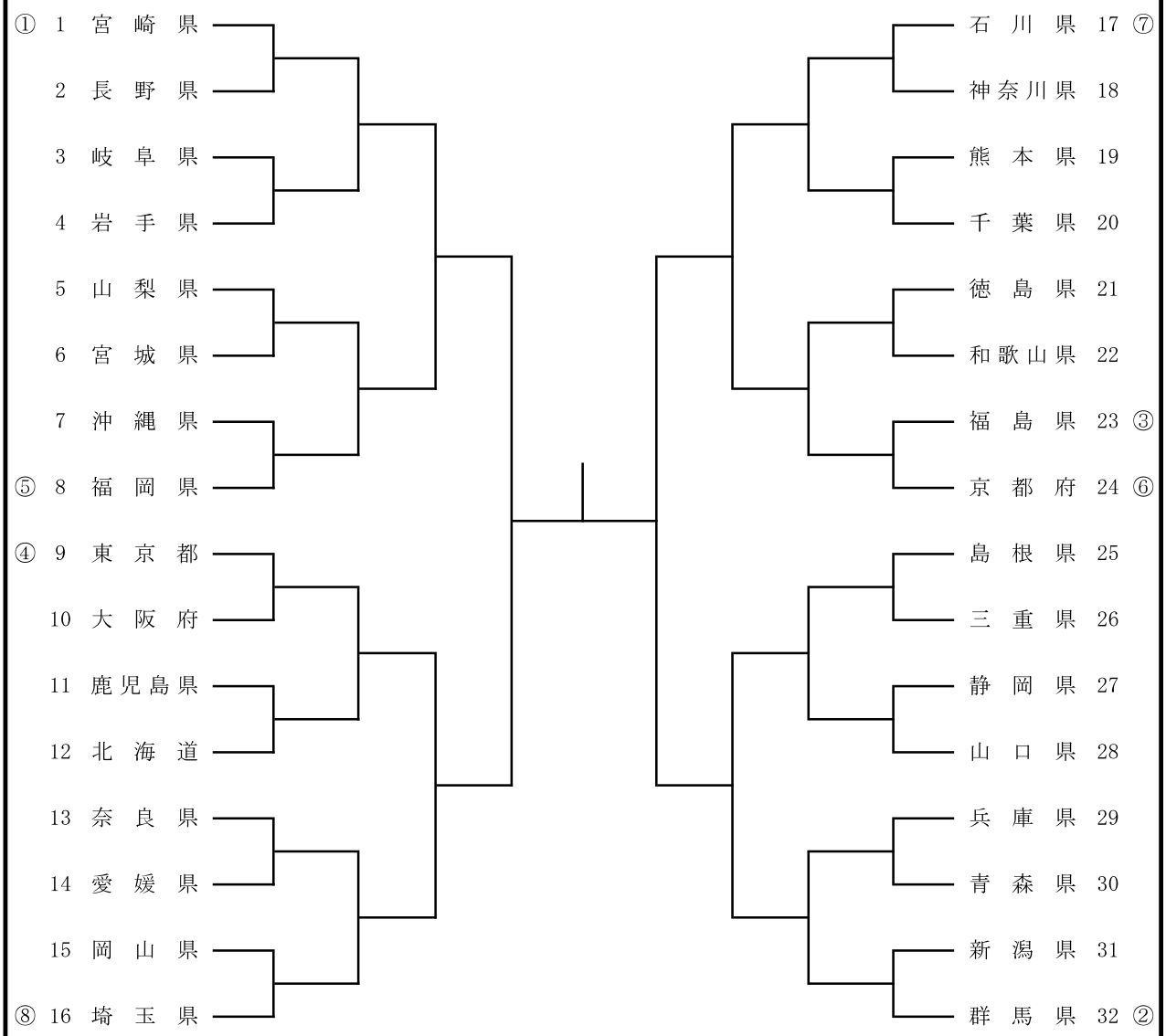
【シード順位】　①愛媛県　②東京都　③宮崎県　④福井県　⑤京都府　⑥茨城県　⑦岡山県　⑧滋賀県

テニス競技組合せ表

【 成 年 女 子 】

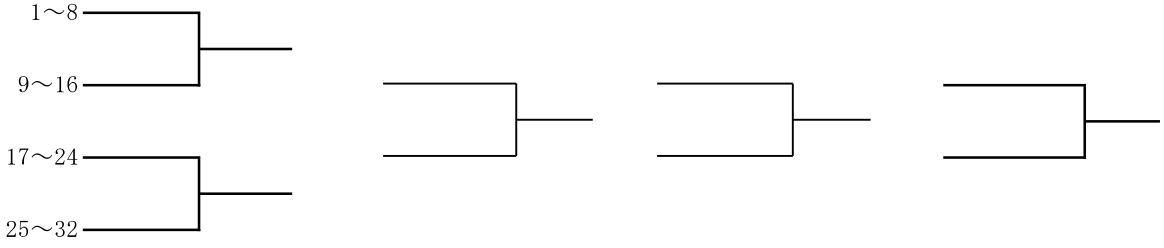
会場：新青森県総合運動公園テニスコート

都道府県名	10月11日	10月12日	10月13日		10月14日	10月13日		10月12日	10月11日	都道府県名
	1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決　勝	準決勝	準々決勝	2回戦	1回戦	



順位決定戦　（10月13日）　（10月14日）

7・8位決定戦　　5・6位決定戦　　3・4位決定戦

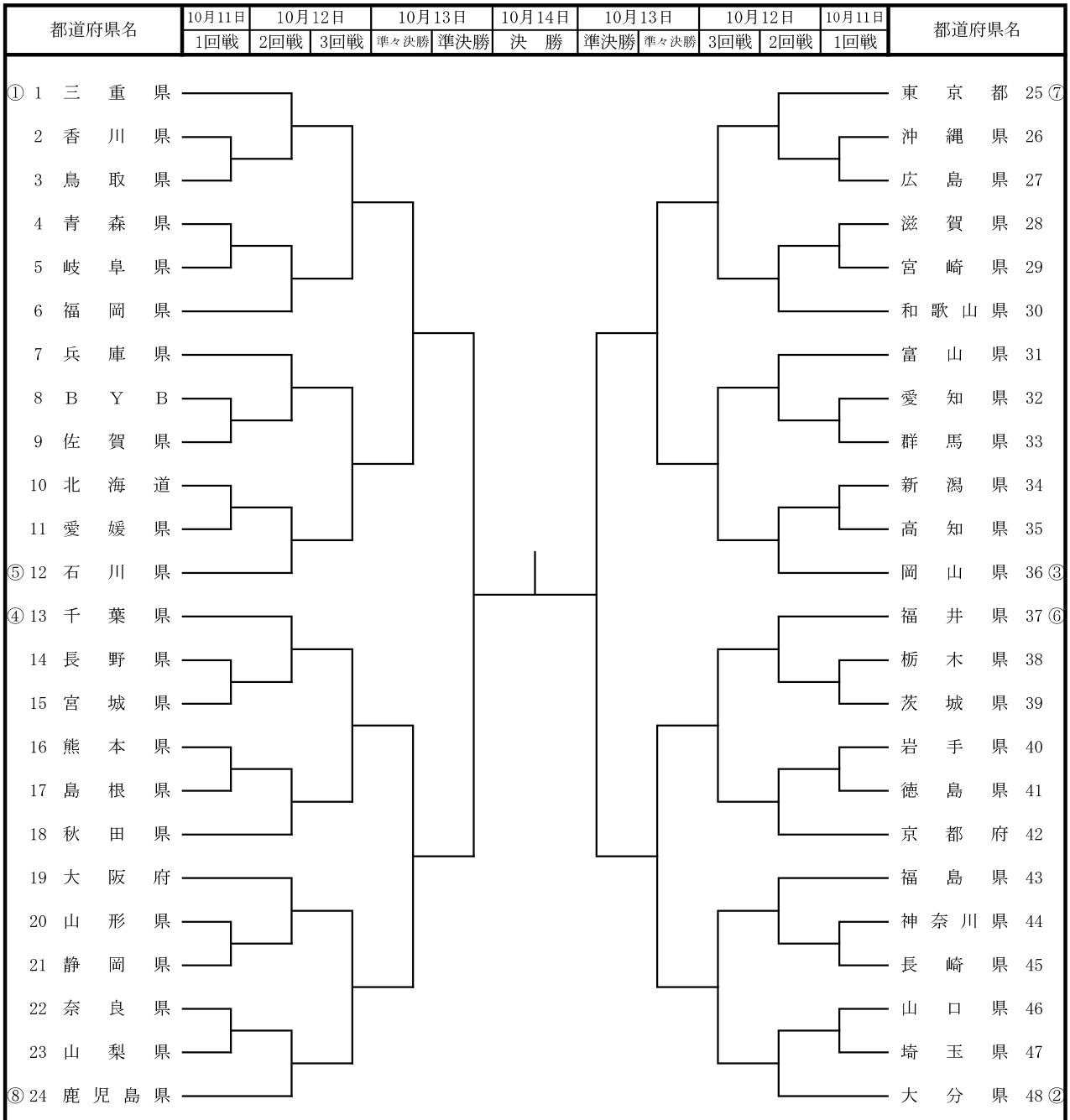


【シード順位】　①宮崎県　②群馬県　③京都府　④東京都　⑤福岡県　⑥島根県　⑦石川県　⑧埼玉県

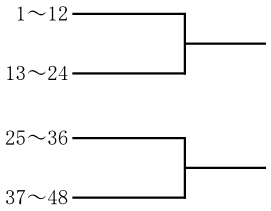
テニス競技組合せ表

【 少 年 男 子 】

会場：新青森県総合運動公園テニスコート

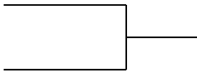


順位決定戦　（10月13日）

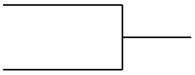


（10月14日）

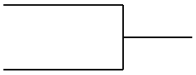
7・8位決定戦



5・6位決定戦



3・4位決定戦

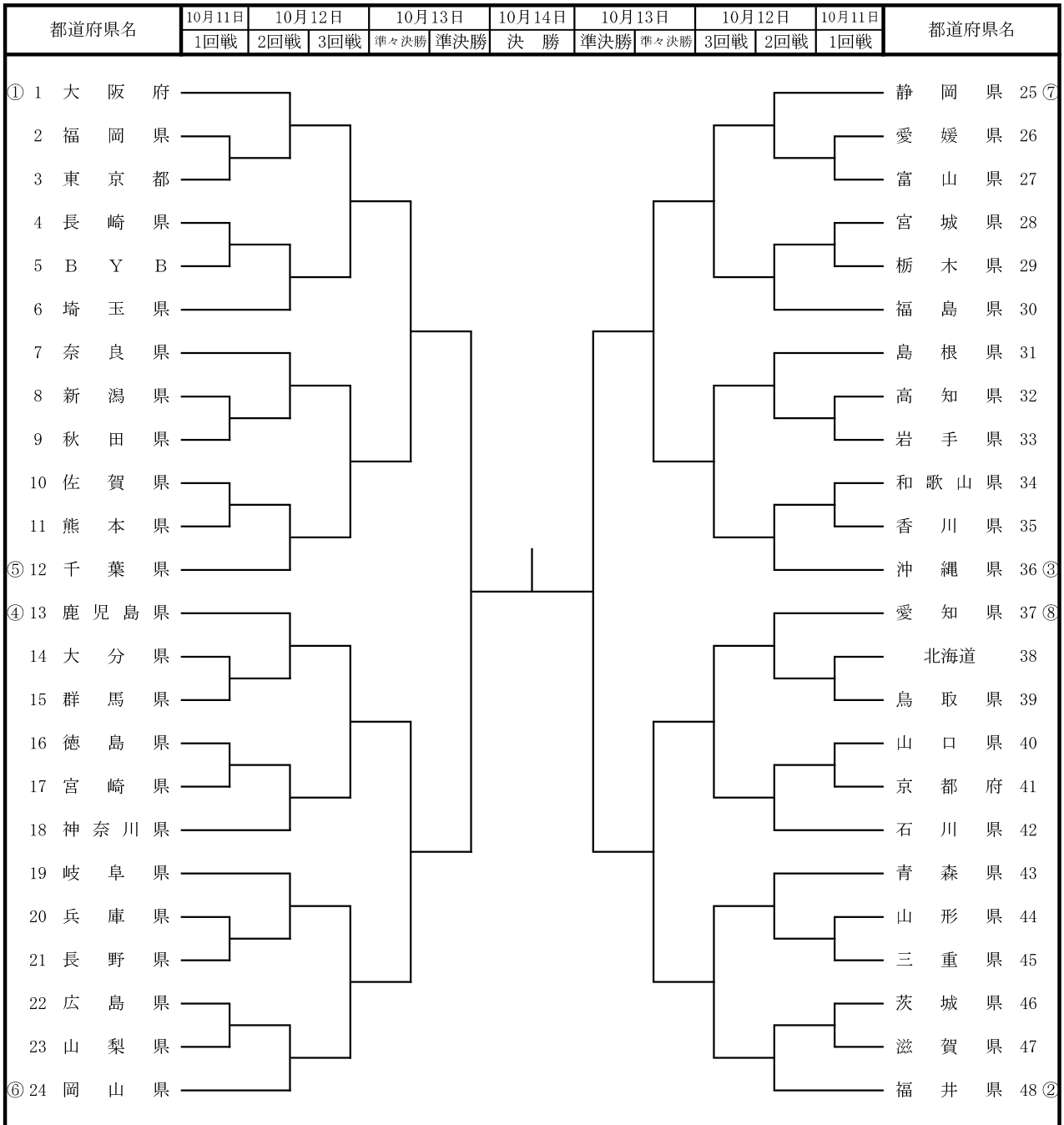


【シード順位】　①三重県　②大分県　③岡山県　④千葉県　⑤石川県　⑥福井県　⑦東京都　⑧鹿児島県

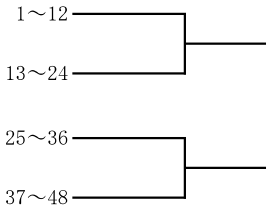
テニス競技組合せ表

【 少 年 女 子 】

会場：新青森県総合運動公園テニスコート

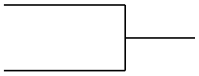


順位決定戦　（10月13日）

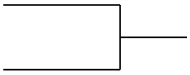


（10月14日）

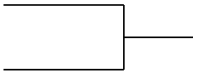
7・8位決定戦



5・6位決定戦



3・4位決定戦



【シード順位】　①大阪府　②福井県　③沖縄県　④鹿児島県　⑤千葉県　⑥岡山県　⑦静岡県　⑧愛知県

表彰式次第

【種別表彰式･総合表彰式】

日時：令和 8 年 10 月 14 日（水）14 時 00 分予定
会場：新青森県総合運動公園テニスコート　ひだまり広場　大型テント内

次第		時刻	時間
	選手集合	13:50	
1	開式通告	14:00	1 分
2	種別成績発表	14:01	3 分
3	賞状授与	14:04	23 分
4	総合成績発表	14:27	3 分
5	表彰状授与・大会会長トロフィー授与	14:30	12 分
6	競技会会長あいさつ	14:42	3 分
7	歓送のことば	14:45	3 分
8	次期開催地関係者挨拶	14:48	3 分
9	諸旗降納（儀礼）	14:51	2 分
10	国旗降納（儀礼）	14:53	2 分
11	競技会終了宣言・閉式通告	14:55	3 分
12	感謝状・記念品贈呈	14:58	2 分
13	終了・解散	15:00	

テ ニ ス 競 技 の 見 方

1　国スポ（国民スポーツ大会）とは

（1）概　要

第２次世界大戦後の、荒廃していた日本を、物心共に復興させるための手段の１つとして、1946 年（昭和 21 年）に始まった国をあげてのスポーツイベントです。都道府県持ち回りで開催（ときには複数県で共催）され、テニス競技は第３回福岡大会（1948 年）から採用されました。第 43 回京都大会（1988 年）から２巡目に入りました。
第 78 回佐賀大会で国民体育大会が国民スポーツ大会に名称が変わりました。

（2）試合の種別と形式

種別は、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の４種別です。試合は都道府県対抗戦で行われ、１対抗戦３試合のうち２試合に勝てば勝利、という形式で行われます。

会場内の試合案内板やプログラム等に発表される試合日程には、次のような記号が用いられています。

Ｓ １　・・・・・　シングルス No.１
Ｓ ２　・・・・・　シングルス No.２
Ｄ　　・・・・・　ダブルス

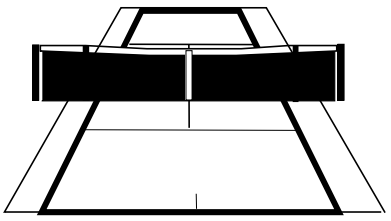
対抗戦の試合順序は、シングルス No.１→シングルス No.２→ダブルスの順で行われます。ただし、対抗戦の勝敗がシングルス No.１と No.２で決定した場合はダブルスを行いません。

2　テニスとは

（1）テニスというゲーム

テニスというのは、「平地に線を引いて、ある区画を作り（コート）、その区画の真ん中にネットを張り、プレーヤーはネットをはさんで反対側に立ち、ボールをラケットで交互に１回ずつ、ワンバウンド（車椅子テニスではツーバウンド）以内で打ち合う」というゲームで、先に打つ方を「サーバー」、次に打つ方を「レシーバー」といいます。

図A

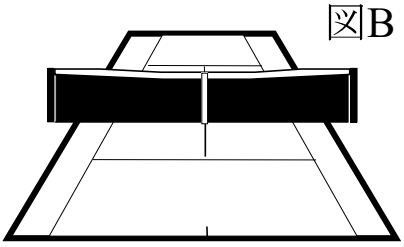


（2）シングルスとダブルス

シングルスは、１人対１人で行う試合方式です。シングルスもダブルスも同じコートを使用しますが、シングルスでは、シングルス・スティックという細い棒を立て、図Ａの太線で囲まれた部分がコートになります。

ダブルスは、２人対２人で行います。ダブルスでは、シングルス・スティックをはずし、図Ｂの太線で囲まれた部分がコートになります。

図B



（3）試合方法

サーバーがまずサーブして試合は始まります。そして、レシーバーがそれを返球することによって、打ち合い（ラリーと言います）が始まります。このラリーは、どちらかのプレーヤーがネットを越して相手側のコート内へ返球できなくなったときに終わり、その瞬間にポイントは終了し、返球できなかったプレーヤーの失点（相手のプレーヤーの得点）となります。

（4）試合に勝つには

試合の勝敗は、「ポイント（得点）」を取って「ゲーム」を取り、ゲームを取って「セット」を取り、セットを取って「ゲーム・セットアンドマッチ」になり勝者が決まるのが、一般的な手順です。

テニスは通常３セットマッチで行われますが、国スポでは限られた日程で数多くの試合をこなさなければならないため、８ゲームプロセット方式を採用しています。

８ゲームプロセット方式では、相手に２ゲーム以上の差をつけて、先に８ゲーム取った方が試合の勝者になります。もし、７ゲームオール（７－７）になったら、以後２ゲーム続けて取った方が勝者となり、スコアは９－７と記録されます。７－７以後、８ゲームオール（８－８）になった場合は、ここでタイブレーク・ゲームを行います。

（５）タイブレーク

タイブレーク・ゲームでは、相手より２ポイント以上の差をつけて、先に７ポイント取った方がそのゲームの勝者、即ち、そのセットの勝者（８ゲームプロセット方式ではその試合の勝者）になります。ただし、双方が６ポイントずつ（６－６）になったときは、その後、２ポイントの差がつくまでその試合は続けられることになります。決着がついた時点のゲームスコアは　７－６（８ゲームプロセット方式では９－８）と記録されます。

（６）スコアのアナウンス

必ずサーバー側のポイントを先にアナウンスします。

ゲーム中のポイントは、０ポイント：０　＝　Love（ラブ）
１ポイント：15　＝　Fifteen（フィフティーン）
２ポイント：30　＝　Thirty（サーティ）
３ポイント：40　＝　Forty（フォーティ）

また、双方が３ポイントずつ（40-40）になったときは、デュース（Deuce)」と呼ばれ、通常は、そのあとはどちらかが２ポイント続けて取るまでそのゲームが続けられます。しかし国スポでは､デュースになった場合､レシーバーが左右どちらのコートでレシーブするかを選択し、次のポイントを取ったプレーヤーの勝利となります。(ノーアドバンテージ方式)

タイブレーク・ゲーム中のポイントは、そのまま「ワン（One)」､「ツウ（Two)」、とアナウンスし、０ポイントも「ラブ（Love)」ではなく「ゼロ（Zero)」とアナウンスします。

注）サービスノーレット方式
第 80 回青森大会から少年種目においては、サービスノーレット方式（サーブがネットに触れて入ってもやり直しはしないでプレーを続ける）を採用することになりました。

３　国スポテニス競技の見どころと観戦マナー

（１）審　判

国スポでの審判は、１コート１名による SCU（ソロ・チェア・アンパイア）方式が採用されます。この SCU 方式というのは、アウトまたはフォールトの判定はプレーヤー自身が行い、その他の一切の判定は審判が行うというものです。

そのため、SCU 方式の試合を見ていると、プレーヤーが「アウト（または、フォールト)」とコールして、コートの外にボールが落ちたというゼスチャーをし、その直後に審判がスコアのアナウンスをしていることにお気づきになるでしょう。

（２）チームの識別

今、このコートでは、どこのチーム（都道府県）が試合をしているのかということは、コートに設置されているスコアボードを見れば容易にわかります。しかも、どちらがどのチームかということも識別できます。

スコアボードは上下２段になっており､上段ネームプレート枠には赤色マークが付けられていて、仮にそれが青森県チームだとすると、コート上の青森県チームのプレーヤーは、着衣の見えやすいところに必ず赤色のリボンをつけています｡これで青森県チームがどちらかということが簡単にわかり、自動的に相手チームの識別もできることになります。

（３）見どころ

国スポテニス競技会は個人戦ではなく、都道府県の代表によるチーム対抗戦です。出場するまでには厳しい予選を勝ち抜いてきており、プレーヤーは郷土の名誉を担い、代表の誇りをもって大会に臨んでいます。必然的にどの試合も厳しい戦いとなり、チームの勝利のため懸命になって戦う選手のプレーは、観戦者に深い感動を与えることでしょう。

（４）観戦マナー（これだけは守って下さい）

郷土のチームの戦いに対して、声を出し拍手を送るなどして、精一杯の応援を送りましょう。

ただし、以下に述べるマナーは、必ず守ってください。

１）声援・拍手をするのは、ポイントが終わり次のポイントが始まるまでの間のみです。
コートで打ち合う球技は共通して、ラリー中の応援行為は禁止です。

２）声援・拍手は、隣のコートに声がかぶったり、邪魔をしないよう気を配りましょう。

３）相手チームの単純ミスには、声援・拍手をやめましょう。

４）ファインプレーや試合終了時には、敵味方なく大きな声援・拍手を送りましょう。

≪ 参加監督・選手一覧 ≫

2026年10月1日現在

（※印：ふるさと選手　◎印：中学3年生）

地区	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子	
北海道	北海道	監	伊佐治　正　章	監	伊佐治　正　章	監	長谷川　大　輔	監	長谷川　大　輔
		1	原　田　悠　仁	1	小　澤　菜　陽※	1	中津川　舜　介	1	行　方　ゆ　な
		2	橋　本　洸　矢	2	小　坂　麻　陽※	2	佐　藤　悠　太	2	大　場　莉　子
東北	青森県	監	松　宮　英　寿	監	越　善　　隆	監	松　宮　英　寿	監	越　善　　隆
		1	齋　藤　優　真※	1	有　馬　果央子	1	柿　崎　悠　樹	1	髙　橋　亜李沙
		2	三　浦　　陽※	2	夏　坂　海夕愛※	2	松　宮　颯　仁	2	小　島　寧　々
	岩手県	監	髙　橋　圭　滋	監	谷　地　隼　人	監	髙　橋　圭　滋	監	谷　地　隼　人
		1	畠　山　　尚※	1	水　吉　萌　香	1	穐　元　大　空	1	大　村　和花子◎
		2	小　原　凜太朗※	2	佐々木　　怜※	2	菅　原　奏　史◎	2	畏　岩　那　愛
	宮城県	監	飛　内　聖　永	監	菅　原　宏　之	監	飛　内　聖　永	監	菅　原　宏　之
		1	石　川　　楓※	1	城　　碧　海※	1	秋　田　敏　太	1	宇　田　芽　衣
		2	五十嵐　昊　也	2	夜　野　光　莉※	2	千　葉　晴　太	2	野　口　妃与里
	秋田県	監	泉　　茂			監	半　田　隆　志	監	半　田　隆　志
		1	野　坂　　条※			1	福　島　弘太郎	1	小　玉　依　誓
		2	原　田　悠　雅※			2	須　藤　奏　多	2	奈　良　茉美香
	山形県					監	小　林　貴　記	監	本　間　久　義
						1	小笠原　慶　人	1	阿　部　ひまり
						2	氏　家　　諒	2	冨　坂　美　月
	福島県			監	橘　　清　孝	監	岩　永　尚　士	監	岩　永　尚　士
				1	志　賀　亜希奈※	1	山　田　和　輝	1	根　本　梨々華
				2	石　井　　颯※	2	三　瓶　泰　斗◎	2	串　淵　未　来◎
関東	茨城県	監	萩　谷　弘　通			監	大　滝　慶　人	監	大　滝　慶　人
		1	中　村　　元			1	高　宮　虎太郎	1	米　山　　心
		2	小　林　良　徳			2	近　野　司　樹	2	小　成　咲　那
	栃木県	監	藤　沼　善　紀			監	斎　藤　良　徳	監	斎　藤　良　徳
		1	海　野　優　輝※			1	安　生　竜　輝	1	廣　田　寧　々
		2	相　原　一　樹※			2	伏　見　一　輝	2	水　戸　優　紗
	群馬県	監	楳　原　祐　希	監	楳　原　祐　希	監	日　出　裕　介	監	日　出　裕　介
		1	篠　原　聖　和※	1	大　脇　結　衣	1	亦　野　　匠	1	吉　田　青　生
		2	鈴　木　荘太郎※	2	勝　見　幸　璃	2	林　　駿　吾	2	五味田　莉　子
	埼玉県	監	阪　　幸　信	監	阪　　幸　信	監	江　本　圭之介	監	江　本　圭之介
		1	木　元　風　哉※	1	重　田　夢　亜	1	永　田　　圭	1	羽生田　　杏
		2	江　原　弘　泰	2	田　中　舞璃花	2	川　岸　龍　太	2	梅　澤　菜々美

≪ 参加監督・選手一覧 ≫

2026年10月1日現在

（※印：ふるさと選手　◎印：中学3年生）

地区	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子	
関東	千葉県			監	秋山礼美	監	水澤拓哉	監	水澤拓哉
				1	中新ゆずりは※	1	柳澤隆登	1	安原吏桜
				2	小野陽菜	2	菅野将広	2	安川結音
	東京都	監	中村吉人	監	中村吉人	監	渡邊大	監	渡邊大
		1	竹島駿朗	1	小高未織	1	藤原友紀	1	伊藤凛
		2	石川真輝	2	松村羽奈	2	関根悠大	2	岩佐心優
	神奈川県	監	石﨑勇太	監	石﨑勇太	監	大山学	監	大山学
		1	杉本一樹※	1	辻内未海	1	長友春鷹	1	和田夏季
		2	望月滉太郎	2	松井七乃花	2	松本諭宇	2	遠藤寛果
	山梨県			監	角田克彦	監	保坂充彦	監	保坂充彦
				1	長谷川美愛	1	中野拓翔	1	三好玲奈
				2	井上あんず	2	塚本和篤	2	杉山巴菜
北信越	新潟県			監	川上英樹	監	小川高幸	監	小川高幸
				1	長束実紀※	1	大友好誠	1	渡邉心葉
				2	佐々木理子	2	浦澤伊織	2	原田紗雪
	長野県			監	野村智弘	監	山田哲生	監	山田哲生
				1	砂田未樹※	1	五十嵐煉	1	園延実桃
				2	吉田琴美※	2	藍澤恵大	2	水口奈美希
	富山県	監	日下大暉			監	秋俊浩	監	秋俊浩
			茂住隼矢※			1	高林直偉人	1	宮腰咲希
			橋本一斗			2	岩崎泰知	2	根建陽咲
	石川県			監	宮田佳恵	監	紺谷和生	監	宮田佳恵
				1	板谷里音※	1	辻本悠嗣	1	林恵凛奈
				2	石田紗矢※	2	宮岸慶成	2	丸田芽生莉
	福井県	監	山村好孝			監	秋山勝之	監	秋山勝之
		1	松村亮太朗※			1	川上拓真	1	芹川香凛
		2	大沼広季※			2	山本翔太	2	春日彩杏
東海	静岡県	監	増田兆孝	監	増田兆孝	監	片山英司	監	片山英司
		1	松村怜※	1	櫻田しずか※	1	今井力輝	1	小木那々美
		2	片山楓	2	二宮茉子※	2	木暮勇斗	2	太田乃愛
	愛知県					監	若林勇希	監	船津大輔
						1	鈴木志翔	1	長谷川良菜◎
						2	元倉八雲	2	水谷愛花
	三重県	監	中村健太郎	監	中村健太郎	監	田根諭	監	田根諭
		1	眞田将吾※	1	髙山揺※	1	小野倫太郎	1	若菜蘭
		2	水野惺矢※	2	森下結葵※	2	片岡龍亮	2	服部天寧

≪ 参加監督・選手一覧 ≫

2026年10月1日現在

（※印：ふるさと選手　◎印：中学3年生）

地区	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子	
東海	岐阜県			監	安藤喜章	監	杉江尚紀	監	杉江尚紀
				1	山田舞子※	1	志知暖基	1	木村心優
				2	白橋乃詠※	2	菅優詩	2	伊藤布美香
近畿	滋賀県	監	中川敬祐			監	亀田智範	監	亀田智範
		1	森田真ノ介※			1	内藤圭吾	1	西川美空
		2	森田竜ノ介※			2	森健悟	2	田中花菜
	京都府	監	尾中弘明	監	尾中弘明	監	武村篤	監	武村篤
		1	﨑山耀登	1	鈴木渚左	1	西田理人	1	成澤寿珠
		2	今西珀人※	2	堤華蓮	2	中屋侑希	2	竹田紗蘭
	大阪府	監	松尾孝義	監	高畑寿弥	監	松尾孝義	監	高畑寿弥
		1	木﨑琉士	1	上田結生	1	小林良輔	1	窪田結衣
		2	磯打航	2	田邑来未※	2	安藤大貴	2	大西瑠歌
	兵庫県			監	藤田公雄	監	田中正人	監	田中正人
				1	牛尾真夕	1	阿部煌大	1	西川桃絆
				2	中村藍	2	須賀凛歩	2	塩見渚
	奈良県			監	西口省三	監	櫻井太郎	監	櫻井太郎
				1	奥谷梨那	1	山口慶二	1	吉野寿桃
				2	鈴木さら	2	日野良祐	2	高山知咲希
	和歌山県	監	松浦佑治	監	松浦佑治	監	沢英樹	監	沢英樹
		1	行岡翼	1	平田詩帆※	1	奥村惺	1	中部屋咲楽子
		2	立花大和※	2	矢野ひまり	2	森壮汰朗	2	松岡利依
中国	鳥取県					監	新一樹	監	楠瀬正勝
						1	安田彰汰	1	川上梨華
						2	米本叶芽	2	赤井優月
	島根県	監	細木秀樹	監	細木秀樹	監	中田広貴	監	中田広貴
		1	岩本晋之介※	1	細木咲良※	1	錦織陽太	1	佐藤彩海
		2	角陽太※	2	加藤那菜※	2	錦織柑太◎	2	石田明菜◎
	岡山県	監	谷征純	監	谷征純	監	中村哲	監	中村哲
		1	岡村一成	1	中島莉良※	1	中川琉成	1	池田花珠
		2	遊川大和※	2	河野彩奈※	2	三好壁生	2	宮崎凪咲
	広島県	監	武田守弘			監	井上靖	監	井上靖
		1	蔵田太洋			1	木河瞭	1	柴山那奈
		2	藤原陸※			2	広瀬慶明	2	藤山羽優
	山口県	監	田中芳伸	監	田中芳伸	監	田中聰規	監	田中聰規
		1	飯田要※	1	田中伶奈※	1	山崎敬史	1	櫻井利真
		2	手嶋海陽※	2	網田永遠希※	2	石田誠志郎	2	阿部千春

≪ 参加監督・選手一覧 ≫

2026年10月1日現在

（※印：ふるさと選手　◎印：中学3年生）

地区	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子	
四国	香川県	監	戸田直樹			監	安藤隆	監	安藤隆
		1	中西柊翔※			1	扶川英琉	1	重松柚葵◎
		2	溝渕崇斗※			2	楠勇真	2	小若実夢
	徳島県	監	中林宏彰	監	中林宏彰	監	羽坂直人	監	羽坂直人
		1	溝渕智大	1	泉結月花※	1	先田航太朗	1	曽我井光里
		2	中川達貴	2	西森暖乃※	2	北村琥太郎	2	一宮美結
	愛媛県	監	日下部聡	監	日下部聡	監	谷原直史	監	谷原直史
		1	中川舜祐	1	紀之定寿佳※	1	宮田凌	1	井伊美琴
		2	楠原悠介	2	石川伽音※	2	倉本晄空	2	宇田沙奈
	高知県					監	田村亮	監	沖宗右
						1	山下真歩路	1	井上葵生
						2	山井聡次朗	2	川添芽生◎
九州	福岡県	監	川平麗貴	監	川平麗貴	監	高嶋康博	監	高嶋康博
		1	伊藤時空※	1	宮原三奈	1	森島悠仁	1	天童光里◎
		2	山口世峰	2	宮原千佳	2	高村颯	2	武藤茉里
	佐賀県					監	白武稔康	監	森扶美
						1	中尾宗介◎	1	田代祐唯
						2	小山将生	2	吉田りんか
	長崎県					監	東口嵩	監	徳吉剛
						1	三原快斗	1	山髙心慎
						2	緒方一馬	2	山髙心豊◎
	熊本県	監	秋吉博之	監	秋吉博之	監	多治見幸亮	監	多治見幸亮
		1	冨田竜誠※	1	笠原亜美※	1	福田泰千	1	松村乃愛
		2	木村孝輝	2	安高日渚莉※	2	古賀遼太郎	2	津田優希乃◎
	大分県	監	中川淳			監	宇野敦也	監	宇野敦也
		1	松永朔太郎※			1	太田周	1	坪井舞央
		2	渡邊脩真※			2	高橋央太郎	2	田中聖香
	宮崎県	監	柴知数	監	柴知数	監	菊池誠	監	菊池誠
		1	武藤守生	1	松田美咲	1	石井貴哉	1	田嶋愛由奈
		2	大岐優斗	2	清水映里	2	古川蒼空	2	光成七優
	鹿児島県	監	有村純太郎	監	有村純太郎	監	兼子周大	監	兼子周大
		1	狩行紀希※	1	瀬戸根愛玲	1	木村英偉太	1	揚野ひかり
		2	河野隼也※	2	杉村舞夏	2	赤沼逢兜	2	餅原理香子
	沖縄県	監	仲田達司	監	平良和己	監	仲田達司	監	平良和己
		1	仲間望※	1	井手葵※	1	大城優心	1	伊東来春
		2	喜久川楓※	2	宇都宮早絵※	2	矢野琉悟◎	2	阪口心乃

都道府県別参加人員表

2026年9月30日現在

地区	番号	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		総計
			監督	選手	監督	選手	監督	選手	監督	選手	
北海道	1	北海道	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
東北	2	青森	1	2	1	2	兼任	2	兼任	2	10
	3	岩手	1	2	1	2	兼任	2	兼任	2	10
	4	宮城	1	2	1	2	兼任	2	兼任	2	10
	5	秋田	1	2			1	2	兼任	2	8
	6	山形					1	2	1	2	6
	7	福島			1	2	1	2	兼任	2	8
関東	8	茨城	1	2			1	2	兼任	2	8
	9	栃木	1	2			1	2	兼任	2	8
	10	群馬	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	11	埼玉	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	12	千葉			1	2	1	2	兼任	2	8
	13	東京	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	14	神奈川	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	15	山梨			1	2	1	2	兼任	2	8
北信越	16	新潟			1	2	1	2	兼任	2	8
	17	長野			1	2	1	2	兼任	2	8
	18	富山	1	2			1	2	兼任	2	8
	19	石川			1	2	1	2	兼任	2	8
	20	福井	1	2			1	2	兼任	2	8
東海	21	静岡	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	22	愛知					1	2	1	2	6
	23	三重	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	24	岐阜			1	2	1	2	兼任	2	8
近畿	25	滋賀	1	2			1	2	兼任	2	8
	26	京都	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	27	大阪	1	2	1	2	兼任	2	兼任	2	10
	28	兵庫			1	2	1	2	兼任	2	8
	29	奈良			1	2	1	2	兼任	2	8
	30	和歌山	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
中国	31	鳥取					1	2	1	2	6
	32	島根	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	33	岡山	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	34	広島	1	2			1	2	兼任	2	8
	35	山口	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
四国	36	香川	1	2			1	2	兼任	2	8
	37	徳島	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	38	愛媛	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	39	高知					1	2	1	2	6
九州	40	福岡	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	41	佐賀					2	2	兼任	2	6
	42	長崎					2	2	兼任	2	6
	43	熊本	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	44	大分	1	2			1	2	兼任	2	8
	45	宮崎	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	46	鹿児島	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	47	沖縄	1	2	1	2	兼任	2	兼任	2	10
合計			32	64	14	64	44	94	4	94	410

競技会場図

NO	施設名
1	受付室内所
2	記録室受付
3	弁当引換所
4	選手・監督控所
5	一般観覧席
6	トレーナールーム
7	雨天時選手控所
8	競技本部
9	来賓控室
10	審判委員会
11	選手受付
12	実施本部
13	競技主任係員控所
14	ボランティア控所
15	競技補助員控所
16	ドリンクコーナー
17	視察員・報道員控所
18	メーカーテント
19	救護所
20	男子ロッカー・更衣室
21	女子ロッカー・更衣室
22	トーナメントボード
23	オーダーオブプレイ
24	記録速報所
25	トーナメント運営委員会
26	ゴミ集積所
27	駐車場係員控所
28	総務・庶務委員会
29	進行・記録審判員会
30	競技委員会
31	JBSコントロール委員会
32	仮設トイレ
33	国スポC H



アクセス



新青森県総合運動公園

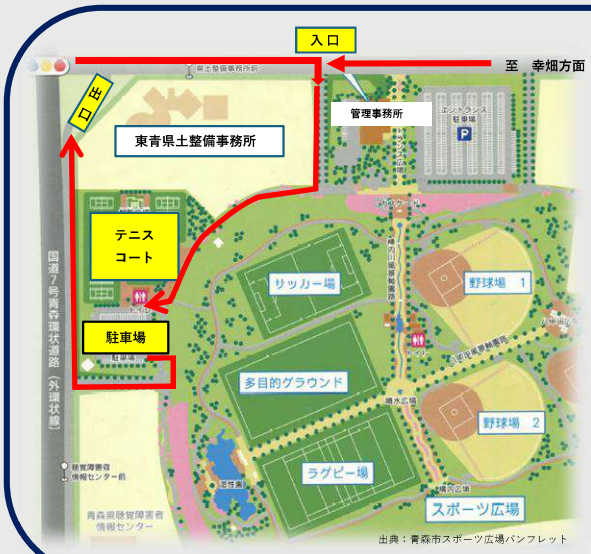
■電車・バス
- 青い森鉄道「野内駅」下車、徒歩25分（約40分）
- 青森市営バス青森駅②のりば　市バス「矢田・滝沢線」乗車「新総合運動公園前」下車（約40分）

■お車
- みちのく有料道路青森料金所から約15分（11.2km）
- 青森自動車道　青森東ICから約5分（2.1km）
- 青森駅から約25分（10.3km）
- 新青森駅から約35分（14.4km）
- 青森空港から約45分（20.6km）

青森市民ホール

■バス
- JRバス東北　青森空港②のりば　「青森駅前行」乗車、「青森駅前」下車　徒歩3分（約38分）

■お車
- 青森自動車道　青森中央ICから約11分（4.2km）
- 新青森駅から約12分（4.9km）
- 青森空港から約22分（13km）



大進建設スポーツ広場

■電車・バス
- 青い森鉄道「筒井駅」下車、徒歩24分（約30分）
- 青森市営バス青森駅③のりば　「J32横内環状」乗車、「上筒井」下車、徒歩15分（約40分）
- 青森市営バス青森駅④のりば　「K32横内環状」行乗車、「妙見」下車、徒歩18分（約41分）
- 青森市営バス青森駅④のりば　「K33学校教育センター」乗車、「地域整備部前」下車、徒歩6分（約31分）

■お車
- 青森自動車道　青森中央ICから約6分（2.6km）
- 青森駅から約20分（7.6km）
- 新青森駅から約27分（11km)
- 青森空港から約18分（12km）

※駐車場の入口から出口までの敷地内は一方通行です。進行方向をご確認の上、安全確保にご協力をお願いします。

関係機関連絡先一覧

◆市実行委員会事務局

名称	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会	青森市柳川二丁目1番1号	017-761-4458

◆競技会場

名称	所在地	電話番号
新青森県総合運動公園 テニスコート	青森市宮田高瀬22番2号	017-737-0610

◆警察・消防署・保健所等

名称	所在地	電話番号
青森県警察　青森警察署	青森市安方二丁目15番9号	017-723-0110
青森県地域広域事務組合 消防本部	青森市長島二丁目1番1号	017-775-0853
青森市保健所	青森市佃二丁目19番13号	017-765-5280

〈実行委員会公式サイト〉

名称	URL	二次元コード
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ【青森市公式サイト】	https://www.aomoricity-kokuspo2026.jp/	

〈医療機関〉

名称	URL	二次元コード
医療情報ネット（ナビイ）	https://www.iryou.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2300/initialize	



JSPO
Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。

Otsuka 大塚製薬　Mizuno　三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ　時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。

JSPO Japan Sport Association
Japanese Olympic Committee
JPSA
UNIVAS

JSPO
Japan Sport Association

スポーツにおける暴力行為等相談窓口



どなたでもご利用可能！

お気軽にご相談ください

「スポハラ」をなくすためには

「いかなる理由でも、指導者・コーチによる不適切な行為はあってはならない」

とスポーツに携わるすべての人が思うことが重要です。

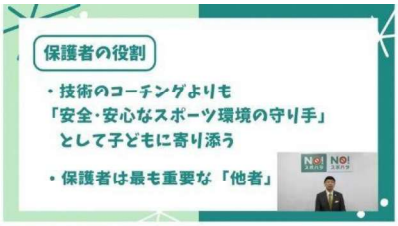
スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書≫≫

『スポハラ』根絶に向けた取組み

JSPO
Japan Sport Association

① 教材・動画の公開



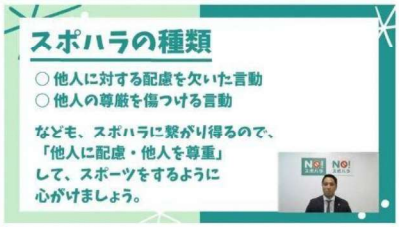


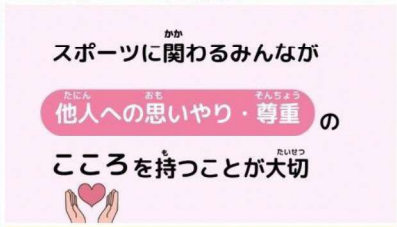




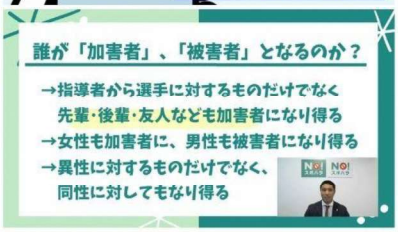




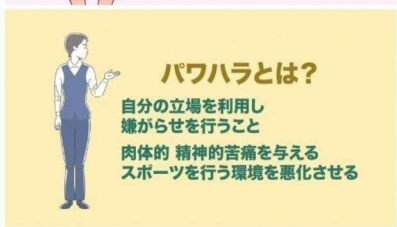


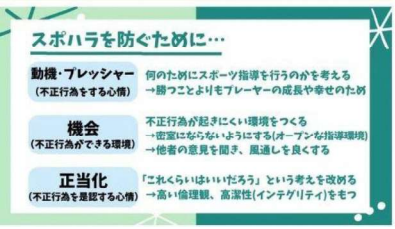


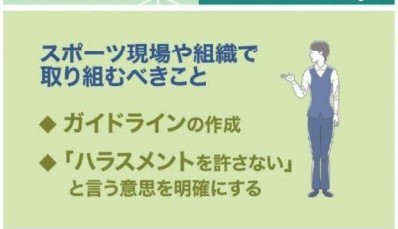


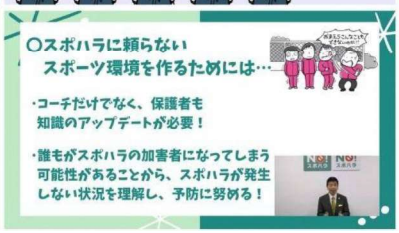














② 普及啓発活動の実施・イベントの開催























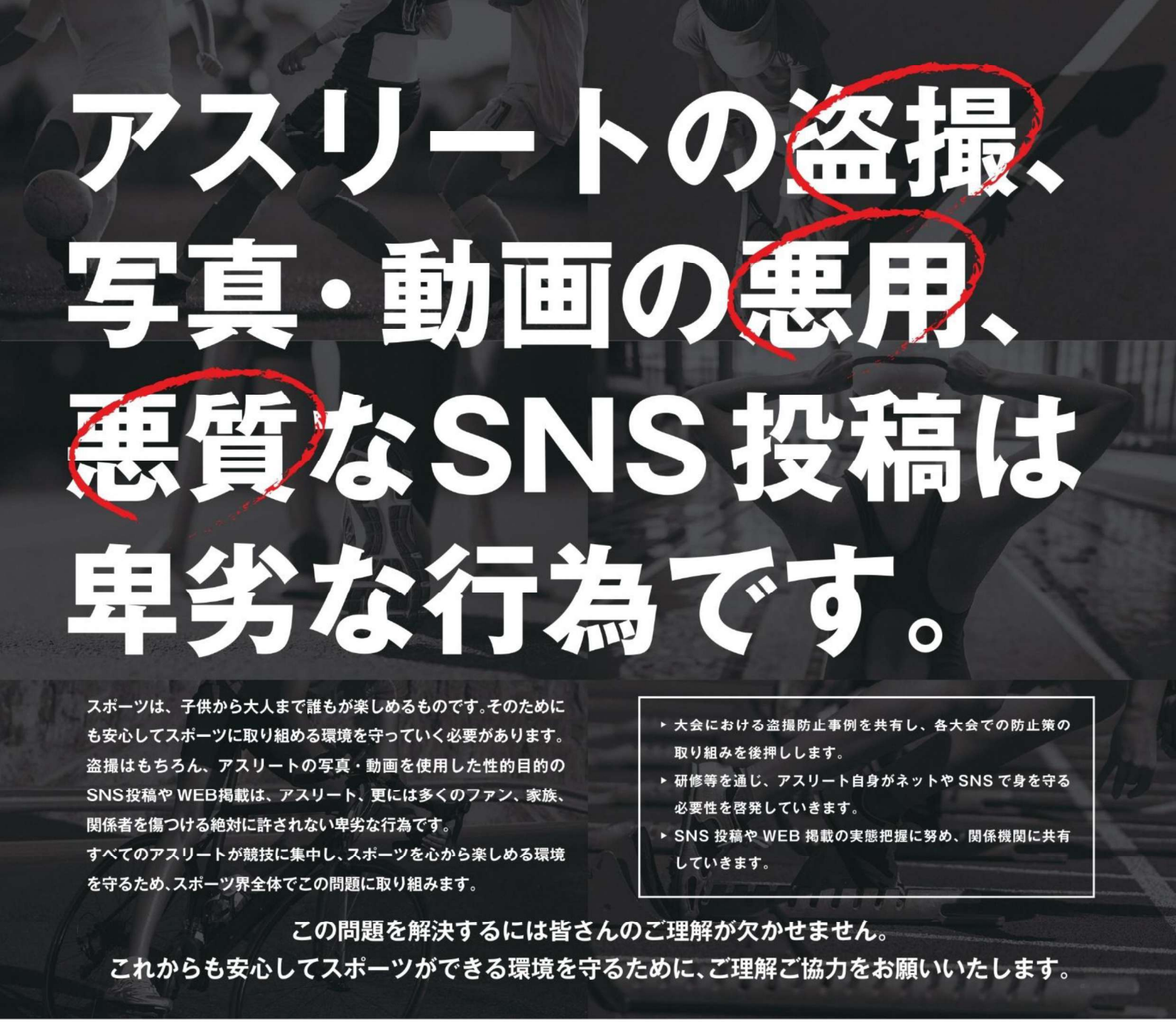












アスリートの盗撮、写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿は卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。
盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。
すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。
これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。

SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

https://www.joc.or.jp/about/savesport/

- **盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。**
- **SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪（名誉毀損罪）として処罰される可能性があります。**
- **匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。**

公益財団法人 日本オリンピック委員会　公益財団法人 日本スポーツ協会　公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会　一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟　公益財団法人 日本中学校体育連盟　独立行政法人 日本スポーツ振興センター

FAIR PRIDE

勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。

JADA PLAY TRUE Japan Anti-Doping Agency

青の煌めきあおもり国スポ 2026 翔けろ未来へ縄文の風に乗って 第80回国民スポーツ大会

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

Copyright © JAPAN Anti-Doping Agency All Rights Reserved.

MIZUNO SPORTS PROMOTION FOUNDATION

1970 ▷▷▷▷▷▷ 56TH ▷▷▷▷▷▷ 2026










スポーツを愛する人たちへ

私たち、ミズノスポーツ振興財団は、

スポーツの普及、振興に必要な事業を行い、

スポーツを愛する人たちを応援しています。

公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

青森市協賛企業・団体のご紹介

（順不同・敬称略）

青森トヨタ自動車株式会社
青森三菱自動車販売株式会社
株式会社マツダアンフィニ青森
有限会社タイムプラン
青森市新町商店街振興組合
創創舎
有限会社オフィスオー・シー
青森市緑化事業協同組合
青森市造園協同組合
株式会社テクノル
株式会社オカモト
青森市アメニティ事業協同組合
A・Zコーポレーション株式会社
合同会社丸髙興業

青森県産米需要拡大推進本部
ヤマモト食品株式会社
鐘屋産業株式会社
二分団ねぶた会
株式会社アイティフォー
青森おでんの会
大和リース株式会社
一般社団法人公縁クロス機構
株式会社吉田工機
株式会社Sky Next
赤平設備工業株式会社
大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業グループ東北支店

株式会社エイ・ワンド
有限会社松栄堂
小田桐錦石研究所合同会社
成邦商事株式会社
株式会社しじみちゃん本舗

株式会社CUTE UP
株式会社翁屋
全国農業協同組合連合会青森県本部
イオン東北株式会社

私たちは、青の煌（きら）めきあおもり国スポ・障スポ
青森市開催競技を応援しています！

青の煌（きら）めきあおもり国スポ・障スポ
2026 AOMORI CITY

テニス競技　試合進行・結果配信システム

ATA-Live!

オーダーオブプレイやスコア速報を見ることができるシステム配信！



QRコードを
読み取ってアクセス！

オーダーオブプレイとは？

どこのコートでどの選手が試合をやっているのか、次はどの試合が入るのかがわかる進行表です。

テニスは試合が始まる時間が決まっていないので

F.B　＝　Followed　by
⇒前の試合に引き続き開始

N.B　〇〇:〇〇　＝　Not Before
⇒〇〇:〇〇より前には始まらない

S.A　〇〇:〇〇　＝　Starting at
⇒その時間に試合を開始する

A.R　＝　After rest
⇒連続して試合を行うため
休憩後に試合を開始する



などの表記で次の試合の予定を表します

競技会場地マップ Venue map

県内全40市町村と県外3市町において、国スポ・障スポ合わせて104競技を開催！

国スポ　正式競技（37）　特別競技（1）　公開競技（7）　デモンストレーションスポーツ（39）　冬季正式競技（3）

障スポ　正式競技（14）　オープン競技（3）

（身）身体障がい者が出場できる競技　（知）知的障がい者が出場できる競技
（精）精神障がい者が出場できる競技

東青地域

青森市

- 国スポ総合開・閉会式
- 障スポ開・閉会式
- 陸上競技
- 水泳（競泳）
- 水泳（水球）
- 水泳（アーティスティックスイミング）
- 水泳（オープンウォータースイミング）
- テニス
- バレーボール（6人制）
- バレーボール（ビーチバレーボール）
- ハンドボール
- ソフトテニス
- 卓球
- 軟式野球
- ライフル射撃（25m）
- ラグビーフットボール（15人制）
- スポーツクライミング（リード・ボルダー）
- アーチェリー
- ゴルフ
- トライアスロン
- ウォークビンゴ
- カーリング
- ソフトバレーボール
- ターゲット・バードゴルフ
- ドッジボール
- 年齢別ソフトテニス
- 年齢別テニス
- ふれあいボウリング
- ユニバーサルホッケー
- ラージボール卓球
- ダンススポーツ
- 陸上競技（身・知）
- 水泳（身・知）
- アーチェリー（身）
- 卓球（身・知・精）
  サウンドテーブルテニス（身）を含む。

平内町

- ゴルフ
- 綱引

今別町

- 年齢別バドミントン

蓬田村

- モルック

外ヶ浜町

- ペタンク

下北地域

むつ市

- ローイング
- バスケットボール
- セーリング
- フェンシング
- フライングディスク
- バスケットボール（知）

大間町

- ウオーキング

風間浦村

- ノルディックウォーキング

東通村

- ソフトバレーボール

佐井村

- ふれあいソフトボール

上北地域

十和田市

- サッカー
- バスケットボール
- 相撲
- ゲートボール
- バウンドテニス
- パークゴルフ
- Let's Enjoy バウンドテニス
- バレーボール（身）

三沢市

- ホッケー
- バスケットボール
- 軟式野球
- ソフトボール
- 銃剣道
- 武術太極拳
- いきいき太極拳
- スケート（ショートトラック）
- アイスホッケー
- ボウリング（知）
- 車いすバスケットボール（身）
- デフボウリング（身）

野辺地町

- ハンドボール

七戸町

- 剣道
- ブラインドテニス（身）

六戸町

- 軟式野球

横浜町

- マラソン

東北町

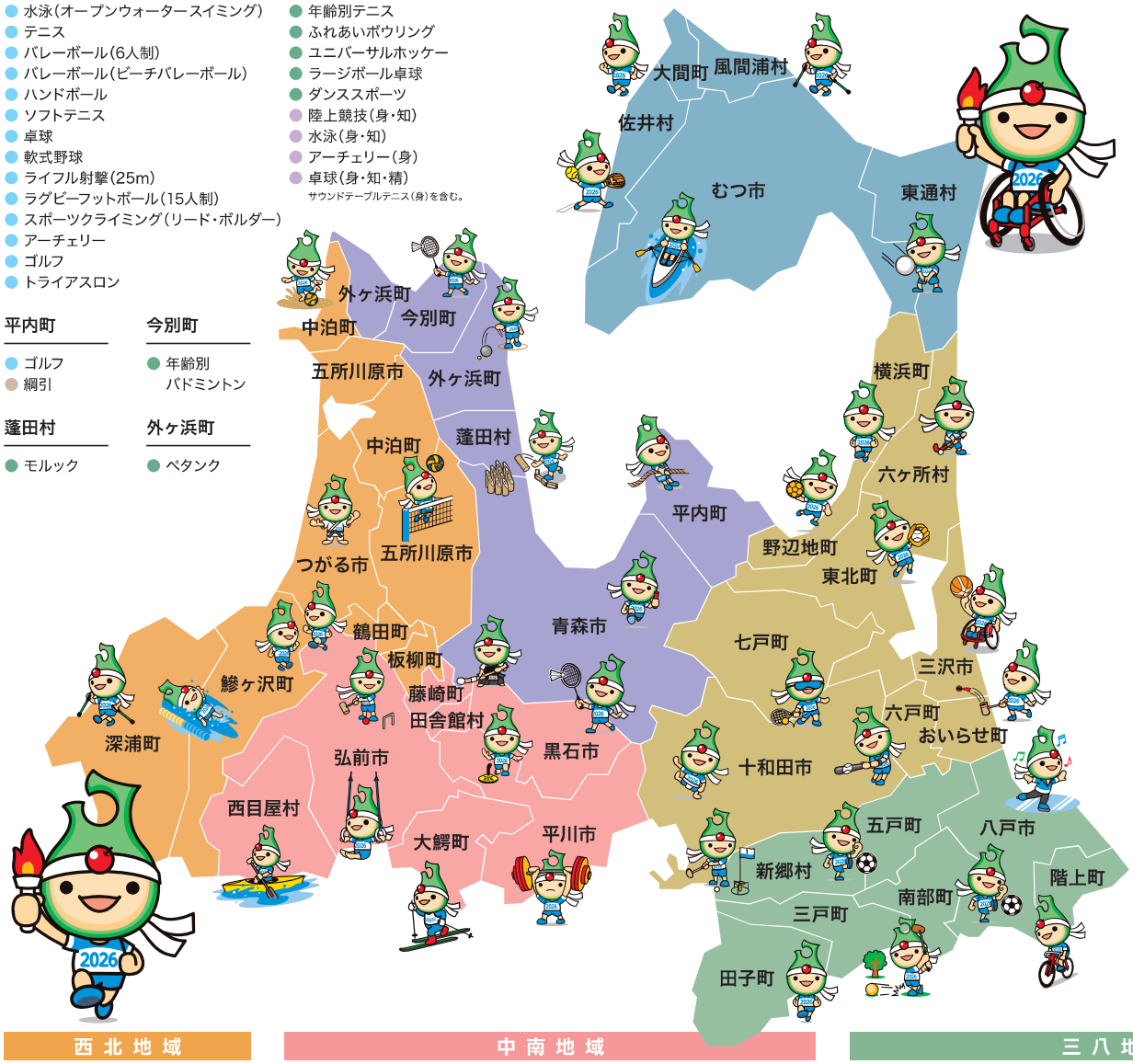
- ソフトボール
- 女子ソフトボール
- ソフトボール（知）

六ヶ所村

- ホッケー
- 軟式野球

おいらせ町

- 軟式野球
- スポーツチャンバラ
- ファイン・ボール
- ブラインドベースボール（身）
- ファイン・ボール（身）



西北地域

五所川原市

- バレーボール（6人制）
- バレーボール（精）

つがる市

- バレーボール（6人制）
- 柔道
- バレーボール（知）

鰺ヶ沢町

- マスターズスイミング

深浦町

- ノルディックウォーキング

板柳町

- ふれあいゲートボール
- ウオーキング

鶴田町

- マラソン&ウォーキング

中泊町

- ビーチサッカー

中南地域

弘前市

- 体操（競技）
- 体操（新体操）
- 体操（トランポリン）
- ソフトボール
- 弓道（近的・遠的）
- ライフル射撃（50m、10m、BR・BP）
- 空手道
- クレー射撃（トラップ・スキート）
- 高等学校野球（硬式・軟式）
- マスターズ陸上競技
- ビリヤード
- フライングディスク（身・知）
- ボッチャ（身）

黒石市

- バドミントン

西目屋村

- カヌー（スプリント）
- カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）

大鰐町

- パラグライディング
- オリエンテーリング
- スキー（ジャイアントスラローム）
- スキー（クロスカントリー）

平川市

- ウエイトリフティング
- グラウンド・ゴルフ
- エアロビック
- インディアカ

藤崎町

- なぎなた
- パワーリフティング
- スポーツウエルネス吹矢

田舎館村

- ユニカール

三八地域

八戸市

- サッカー
- バスケットボール
- レスリング
- 自転車（トラックレース）
- ソフトボール
- ラグビーフットボール（7人制）
- ボウリング
- 空道
- スケート（スピード）
- スケート（フィギュア）
- アイスホッケー
- サッカー（知）
- フットソフトボール（知）

三戸町

- パークゴルフ

五戸町

- サッカー

田子町

- マラソン

南部町

- サッカー

階上町

- 自転車（ロードレース）
- フロアボール

新郷村

- エンジョイ！グラウンド・ゴルフ

県外

宮城県利府町

- 水泳（飛込）

山梨県北杜市

- 馬術

秋田県鹿角市

- スキー（スペシャルジャンプ）
- スキー（コンバインド）

青の煌めきあおもり国スポ

翔けろ未来へ縄文の風に乗って



競技記録・速報二次元コード

ＰＣ・スマホ

フィーチャーフォン
（ガラケー）

第80回国民スポーツ大会　**テニス競技会**

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会